

問 24 あなたが「青少年の健全育成」について思うことを自由に記入してください。

- 親がしっかり注意し、怒ることも大事。正しいことをしたら褒めてあげることも。(男性 20代)
- 私は小学生のときの子ども会でいろいろな行事に参加することで、広く人とコミュニケーションを取れて、その中で友達ができたのでよかった。そういう行事が多くあれば、人間関係を学べるよい機会になると思う。若年者の離職問題に関しては、大企業ではよいが、中小企業での教育システムが成立していないことが問題。昔ながらの「見て覚えろ、仕事は盗め」は非常に効率が悪い。何より、ちゃんとした学校教育を受け、言われたとおりにやるよう教育されてきたにもかかわらず、社会に出た途端に突き放されても困惑する。社内の教育システムができていれば、自分の担当する仕事があって自分の居場所ができる。自分が会社に必要人間と思えば、早々やめることはないと思う。自分も妻もそういう点で苦勞した。メンタルが弱ければ、そのまま辞めてひきこもりやニートになってもおかしくはない。(男性 20代)
- 富士市は他の市に比べ中学・高校生の風紀が非常に乱れているように感じる。罰則を強化するなどして何らかの対策を取る必要があると思う。(男性 20代)
- 青少年の問題を学校側の問題とし、騒ぎ立てる親がいるが、そういった親の姿勢こそ問題があると思う。学校とは本来、共同生活や社会性を磨く場と思う(特に小学校)。そこで必要な最低限のルールとマナーを教えるのは当然親の責任であり、それすらも学校や教員に任せようとする親の存在が信じられない。青少年の育成の前に「親」のレベル低下を問題にすべきと感じます。(男性 20代)
- 目標を定めて努力した結果、挫折する場合もあるため、挫折したときにどのように立ち直るかということが最大の課題と思われます。(男性 20代)
- 私が一番思ったことは、近場に専門学校など身近で資格などを取れる場所がないことです。現在、沼津市で専門学校の建設が進んでいますが、富士市にも専門学校を建設し、高校生のうちから次の進路を身近に考えられるような環境をつくるのが一番必要ではないか。(男性 20代)
- 青少年の健全育成については、ゲーム・インターネット・携帯電話の普及によるコミュニケーションの変化がひきこもりなどにつながっていると思う。最近の子どもはコミュニケーションツールとしてすぐに携帯電話のメールなどを使う。直接的な人と人とのコミュニケーションから学ぶことは多く、そこから多くの友人ができ、信頼関係も構築される。特にひきこもりは自分一人で悩んでしまうことが原因と思われるので、家族や友達との直接的なコミュニケーションをふやすべき。特に家族内では子どもへの指導が必要(例えばどこへ行くにも子どもにゲームを持たせているケースなど)。(男性 20代)
- なんでもかんでも大人が助けてあげる必要はないと思う。いじめの問題も、いじめる人はもちろん悪いと思うけど、いじめられる人も悪いところがあると思うから、そこをもっと考えるべきと思う。(男性 20代)
- 青少年が悪いというイメージがこのアンケートにはあると思った。私はそれよりも親に問題があると思う。また、教育面でも、もっと活動・行事の場を広げるべきと思う。しかし、コストの負担が問題に挙げられるかもしれない。(男性 20代)
- みんなで一緒にやればうまくいくという考えは、今の時代は持たないほうがよいと思います。一人一人が違う考えがあって、それぞれに合った対応策が重要と感じました。薄い内容のアンケートと思います。これで変わるとは思いません。(男性 20代)

- もっと大人がしっかりするべきと思う。非常識な団塊・バブル世代が子育てをうまくできていないだけのこと。むしろこれだけのひきこもりやニートを生み出して社会が回っていることは平和と豊かさの証と思うので放っておけばいいと思う。ちゃんと働いている人のサポートを手厚くするほうが健全。(男性 20代)
- 富士市はヤンキーが多いですね。昔から住んでいるわけではないので理由はわかりません。(男性 20代)
- 有害環境をなくすことが一番と思います。もちろんその環境を利用する人もいるでしょうし、商売として行っている人もいて、権利もあるのかもしれませんが。しかしそれは青少年の健全育成という表題とは相反することであると思います。(男性 20代)
- 富士市は非行に走る青少年が多いが、やはり原因は学校教育で道徳が軽視されているからであると思います。川勝知事の「富国有徳」にあるように「徳」のある青少年の育成は富士市、ひいては日本国においても大変プラスになると思います。(男性 20代)
- 他人が何を言っても、自分自身の問題なので意味がないと思う。(男性 20代)
- 最近小さいころから勉強させすぎ。子どもは子どもの大人は大人のルールがある。その時期のルールは遊びの中で楽しく自然に勉強していくものだから、大人は子どもたちに集まるタイミングをつくってあげて自由に遊ぶ場所を提供してあげないと。一線越えそうなきだけは自分の子だろうが他の子だろうが必ず叱ることも大事。野放しにすることと自由にさせることは違うのだから、そのことを大人も心得て、子どもを遠くからでもしっかり見てないといけない。(男性 30代)
- 青少年の健全育成について、最も影響が強いのはテレビとインターネットと思う。テレビで悪影響を与えるようなことをやれば、青少年は染まりやすい。市が健全育成にどう関わるかというよりも、マスコミによる悪影響をやめさせることが一番重要と思う。(男性 30代)
- ゲーム・インターネット・携帯電話の普及や学歴社会化など、直接的に人とふれ合ったり、他人と協力して物事に取り組んだりする機会が減っていると思う。理屈や理論よりも、さまざまな体験の場をつくるべき。それらによって将来的には補導や規制とは違う個人の意識による犯罪の減少、社会の健全化につながると思う。(男性 30代)
- モンスターペアレンツに抵抗できない社会や学校が原因。(男性 30代)
- ニートやひきこもりは自分もなりかけたので問題と思っているが、自分は相談相手がいなかったの、家庭内はもちろん相談所も、わかりやすく友達のような関係を持ちながら解決できる形がいいと思う。また、そうなる前に家庭内で親が子に対して威張ることなく、アメとムチのような形をはっきり見せて接していくことが大事。子どももそんな親についてくるはず。この時代は両親が共働きしなければ暮らしていけない不景気な時代で、親子間でコミュニケーションも取れない。子どもがかわいそう。そしてそんな子どもは非行に走りやすい。海外ではそんな環境でも子どもが非行に走らない活動をしている国もあるのでそういう国を見習ってほしい。他県の市町村で積極的に行っているところもあるので富士市も勉強してほしい。富士市は、まちづくりでもなんでもPRのしかたが下手すぎます。大好きな富士市なので頑張ってください。(男性 30代)
- 明らかにゆとり教育の弊害です。教育が与える影響度が明らかになったはず。教育者を守ることをしっかりとすれば、よい教育者になる。昔のような指導をしてほしい。どちらが犯罪などを犯す人間、ニートやひきこもりになる人間の数が多いかわかる。昔の教育指導方法に戻してほしいです。できないなら教育者を守り、教育者の考えを全面に出せるようにしてください。(男性 30代)
- まち全体として取り組んでいかなければ難しい問題と思う。(男性 30代)

V 自由意見

- 「全ては金太郎アメである考えをなくすこと」、「個々の生きてきた過去や方向性は一緒でない」、「抱える問題も深刻な悩みから、取るに足らないものまでである」、「残念ながら人には能力や資質の差がある」、「結果を先に考えて足を止める」、「人生をふて腐れて足を出さない」、「他人や社会に責任を転嫁して逃げる」このような要因でひきこもり・ニートになると思う。「徴兵制」、「塙の中での生活」でも決して直らないと思います。甘えと自覚ができない人・できる人を区別して、立ち直る人から健全育成を考えたほうがよいと思います。(男性 30代)
- 青少年の健全育成には多くの人のコミュニケーションが必要と思う。家族や学校の枠ではなくて、社会全体ではないでしょうか。ひきこもりやニートは決して個人の問題ではないと思う。ひきこもりやニートという表現もよくないと思う。(男性 30代)
- 青少年の健全育成について、ニートやひきこもりなど、いろいろな問題があります。この問題については、今に始まったことではなく、昔からありました。現代と昔の違いを考えれば、そんなに難しい問題ではありません。まず最初は、家庭における問題が一番と思います。そして、地域や社会問題になります。今と昔では、取り巻く環境が違いすぎて、地域や社会とのつながりも減ってきています。本人だけでなく、家族・地域や社会全体を含めて、この問題に取り組んでいく必要があると思います。(男性 30代)
- やはり家族の絆が一番と思う。(男性 30代)
- 価値観はいろいろあると思うので、条例で規制しないほうが良いと思う。(男性 30代)
- 核家族化が進み、高齢者との交流が減り、親にない包容力に触れたり、弱者に対する接し方など、縦社会の交流が必要と思う。また、学生生活でしか体験できない横社会での交流が必要と思う。(男性 30代)
- いいことをしたら褒める
- 悪いことをしたら叱る、子どものうちに家庭や学校にてしっかり教育する。勉強や部活などに熱中させることが大事。まわりの環境が大切だと思います。(男性 30代)
- 青少年の非行などはすべて親の責任であると思う。家庭でのしつけ・教育・環境が悪い。(男性 30代)
- 今の親(大人)がだらしがいないため、ひきこもり・ニート・非行がふえてしまったと思う。子どもは親や大人を見て育つから悪くないと思う。今の大人はどこでもスマートフォンを片手にゲームをやっている情けない。またそれを見て子どもが育つ。まるで負のスパイラル。富士市は田舎のため、禁煙場所が少なく、大人がどこでも煙草を吸っている(駅周辺・商店街・学校の通学路など)。東京によく行くが、禁煙場所が多いはず(富士市長は愛煙家か)。そういうところから直していかないとよい青少年が育たないと思う。親の甘やかしがすべての原因だと思います。形だけのアンケートにせず、いろいろとしっかりと実行してください。(男性 30代)
- 自分もそうだが、最近の親は子どもに対して甘い。(男性 30代)
- 家庭教育が重要と考える。保護者が子どもを甘やかすのではなく、愛情を持って育てること。親は社会性や規範意識を持つこと。(男性 30代)
- まずは親の教育が重要。学校教育ももちろん重要。(男性 30代)
- 今は昔と違い、ゲームやインターネットが発達して外に出なくても交流ができる世の中になってしまったと思います。そういった中でも外に出て人とふれあうことが大事と思うので、ボランティアなどの活動を育成のためにすればいいと思います。(男性 30代)

- なんでも相談し合える家族関係を築くことが一番大切と思うが、それがうまくいかなかったとき、相談しやすい機関があると助かると思う。まだ自分たちには子どもがいないため、何が本当に助けになるのかははっきりとわからないことが心配。(男性 30代)
- 今の子どもたちは打たれ弱いように思うので、幼いころからいろいろ経験させ、苦勞したり、挫折を味わうことが必要と思う。幼少期からいろいろさせるべきと思う。(男性 30代)
- 家庭や友人などの環境により左右される。親としては、よい環境づくりに努めたい。(男性 30代)
- 最近の青少年は本当にひどいと思う。私の会社では、みんな20歳前後の若者の言動にあきれている。学校で教師が弱く、親が強くなったのがいけない。悪いことをしたら叱る。それに対して親は教師に文句を言うことはおかしい。もともと親のしつけが悪いのだから。モンスターペアレンツは確実にふえている。(男性 30代)
- 青少年に関する問題の多くは、家庭に原因があるのではないかと思います。とはいえ、「父(母)がいないような父(母)子家庭だから」ということではなく、「大人としての考え方ができない親が多い」ことが原因の一つだと思います。「スーパーの身障者用駐車スペースに平気で駐車する」、「深夜まで赤ちゃんや子どもを連れ回す」、「親でさえあいさつができない」など挙げればきりがありませんが、こうした親が子育てをして、未来を担う青少年がよい方向に育つわけがないと思います。根本的な解決のためには自治体による対策というより、家庭とりわけ「親として」の考え方をいかに持ってもらえるか、そこに尽きると思います。現在親である人も、これから親になる人も、無関係な人は誰一人いない問題だと思います。(男性 30代)
- 幼少期は極力子どもの近くにいて成長を見守ってほしい。不景気で所得が減り、やむを得ず共働きをしている家庭が多すぎる。困っているときに手助けできなければ、健全な人間育成は難しい。休日は保護者が子どもと遊んでふれあうことも大切。ゲームが普及しすぎて、コミュニケーションを取らなくても遊べてしまう。子どもは外で遊び、小さな社会を学ぶもの。(男性 40代)
- 学校よりも、家庭での教育が大事と思う。(男性 40代)
- 今の富士市の青少年たちは外に出ない。学生は外で遊ばずゲーム。社会人になっても、車は持たない。友人と遊ばない。映画も見に行かない。せっかく常葉大学があるのに、富士のまちがつまらないから、寄り道もしない、交流する場がない。だからひきこもりやニートがふえる。私は駅南に住んでいるので、バスに乗る学生をよく見かけるが、そのまま親が迎えにきて帰っている。情報交換したり楽しんだりする場がない。青少年が楽しく交流できる魅力あるまちづくりが必要だが、まちづくりしている人たちが、若者のニーズを全くつかんでいないと思う。吉原地区や富士宮はその点ニーズをうまくつかんでさまざまなイベントをして成功している。真剣に考えてくれる若者を募集して意見を聞いてみたらどうか。(男性 40代)
- 働かなくても生活できる、食べていける環境が甘えを生み、危機感を喪失させていると思う。自身が行動しなければ生きていけないと思えるようにしたほうがよい。(男性 40代)
- 子ども会と青年団の間に何かありましたか。活発ではなくとも、何らかの会に所属することは有効だと思います。(男性 40代)
- 健全の定義を示すべきである。(男性 40代)

V 自由意見

- 青少年期に学業重視の傾向があるため、社会活動に参加せず、かつ興味なく成人し、成人しても親が社会活動に参加させないことが続き、社会活動に参加しなければならない年齢になっても参加しない、このことが地域のコミュニティの崩壊を生んでいるような気がする。隣の家の家族構成も知らないような人つき合いの中で、災害時の十分な対応などできるのであるだろうか。時には強制的に参加させるような催しがあってもいいのではないのでしょうか。別件ですが、アンケートを返却する前にお礼が届くとはどういうことですか。これこそが行政の無駄というものですか。人を大切にしない行政の姿ではないですか。協力してくれた人にお礼をする、これではいけないのですか。
(男性 40代)
- ゆとり教育の結果が今の青少年に出ている。「叱らないで褒める」という教育の欠点が出ているのでは。ちょっと注意するとすぐに泣いて仕事に出てこなくなる。ちやほやされて成長してきた。何もできないのに自分を省みることなく立派なことばかり発言し、平気で同僚・先輩・後輩を傷つける。今の青少年は精神的に弱いです。耐えるということができない。
(男性 40代)
- 20歳未満はゲームセンターへは入場禁止にすべき。ゲームセンター側もチェックをしたほうがよい。呼びかけるだけではいけないと思います。
(男性 40代)
- 自分が他人より何が優れていて劣っているかを理解して、得意分野で活躍し、社会で働く人になってほしい。高い志がある人がいて、それについて来られない人がいるというのは社会構造として当然で、それから自分が何をしたらいいかを理解すると考えています。
(男性 40代)
- 同じ目線になって、よく話を聞いてやる環境が必要だと思います。
(男性 40代)
- 青少年の健全育成の前に、親の健全育成が大切。親を見て子どもは育つと思うので、社会のマナーなどを自分を含め親は考え直すべきだと思います。
(男性 40代)
- 私は自分の子どもにはあまり口出しはしていません。子どもの気持ちをできるだけ尊重します。ただ、家族が一番の理解者で協力者であると子どもには言いました。正しいことはわかりませんが、私は理解者や味方がいる人は人間的に強くなれると思っています。
(男性 40代)
- 言葉遣いが悪い。マスコミや親の教育の結果と思うが、友人関係を深める手段の一つになっているのも事実である。学校教育も改善してほしい（コミュニケーション能力など）。
(男性 40代)
- 無責任な親の対策を考えてほしい。
(男性 40代)
- 親同士が近づき難くなっているのは大きな問題と考えています。親が地域活動や仲間づくりがしにくく、離れていっていることが原因に感じます。周りの人を頼りにしないと生きてはいけない時代とは違って、必要な情報はインターネットやメディアで入ってくる時代だからこそ、親同士がまずふれあうことをしなければ、子どもたちはどう人と接するのかを学ばず、成長しません。親世代が人とふれあって成長できる環境づくりを望んでいます。
(男性 40代)
- 教員の教育、育成。例えば愛情をもって指導できる教員（たまには手を出すことも必要）、クラスメイト全員に気配りできる教員など。両親への子ども指導方法の育成。半年に1回、専門家による全員参加のセミナーなど。
(男性 40代)
- キャンプが自立や協調性の育成によいと思います。
(男性 40代)
- 子どもたちが「頑張ろう」と思ったときに、それをリアルタイムで支援できる体制ができるとよいと思います。成功体験や、失敗体験を繰り返すことで成長すると思います。
(男性 40代)
- 大人を何とかしないと青少年に言えないと思う。
(男性 40代)

- 地域の人との接点が重要。子ども会などは大変よいと思います。ただし、親の間でトラブルがあり、子どもが地域社会に入れなくなるケースがあるのが残念です。青少年の健全育成の前に、子育て中の親への「家族とは何か」、「家庭愛の重要性」、「人を思いやる気持ち」などの成年教育が必要と思います。2世代の家庭がふえてくると、小言を言ってくれる祖父母がいないので、子どもとどう向き合ったらよいのか悩む親のもとでは、子どもは不安になり、健全に育たなくなってしまうと考えます。青少年の健全育成は大人の健全育成です。(男性 40代)
- 若い青少年にも興味を湧くような講座なども必要と同時に、大人や保護者にも同じことが言えると思います。今の時代、叱ってくれる怖い人より頼れる人が求められるので、信用されるカリスマ的な人や場所がほしいですね。(男性 40代)
- 個人の自主性を重んじながらも、目標・目的を示せるように導くことが大人の責任である。甘やかすことなく、つかず離れずの関係を保って接している。道徳教育の不足が社会的に目立っており、家庭内で行えばいいと思うのだが、親もできない人がいるのが問題である。幼いころからの道徳教育が日本人の美德と考えるのは古いのかと考えさせられる状態です。(男性 40代)
- 集団ではなく、個として動ける人間・人格づくりを望む。最近の中高生に限らず、若年層は個としてはよい子が多いが、集団になると疑問という子が多い。(男性 40代)
- 青少年本人が甘えすぎ。(男性 40代)
- 今の世の中、老害や自分の立場を確保するため、40～50代の給与を減らし、首を切る。それらの子どもは、高校・大学生でお金のかかる年のはず。親の収入がなければ学校への道も閉ざされる。心はすさみ、親や社会を恨む。40～50代では再就職は望めない。子どもが仕事をするにしても、バイト・派遣・正社員はコネがいる。社会に希望が持てなくなる。人の上に立つ人は、下の立場の人のことを考え、金を使ってほしい。いじめにしても、いじめている子どもの親は大抵社会的立場のある人が多く、親の立場を利用していじめている。先生が親に何も言えないのをわかっているからエスカレートする。いじめは犯罪であり、警察が担当すべきものと思っている。また、学校の先生が大学を出てすぐ担任になることが間違っている。子どももいない、親になったこともない人物が担任になって何ができるのか、学校行政を考えるべきである。(男性 40代)
- 甘えや接し方がわからない親がふえているのもそうであるが、子どもが完全に甘えている(何もなくても生活に困らない)。なぜ、悪いことやニート状態になったのか。理由が分析できていないのでしょうか。おのおのの理由はあれど、大きく4～5つの枠になるのではないのでしょうか。その事由に対して、このようなアンケートを企画されるより、一つずつ問題解決していくほうに力を注いでください。また、他人(教師・部活動の顧問)が、ゲンコツのひとつもできない時代になり、昔と比べると、陰湿ないじめやひきこもりがふえているのでは。私は恐いから、痛いから、言うことを守る＝ルールを守る時代に育ったので、不思議な世の中になったと思います。(男性 40代)

V 自由意見

- 昔は学校での体罰は当たり前で、自分が悪いから叱られるとの意識があった（たまにやりすぎはあったが）。家でも子どもをよくどなって叱りますが、祖母（嫁の親）にみっともないから大声はやめてと言われます。世間体を気にした子育てで育った親たち（親からまったく叱られたことのない）が、自分たちの子どもを余計に甘く育て、痛みを知らず育ってしまう、悪循環もある現状と思います。学校ではどんどん叱ってほしいと思います。うちの子どもたちもそうですが、ゲームも悪影響が大きいです。無料のオンラインゲームなど、インターネットもそうですが家にいて他人と接することができて、顔を合わせたコミュニケーションが欠け、ひきこもり・不登校へと。時代が変わったのならそれに合わせたルール（教育）へと変えていかなければなりません。でも怒って叱る、親子での取っ組み合いは続けていきますが。おいとも取っ組み合いをしましたが、愛情は伝わりました。私は映画が好きなのですが、感動する映画を学校で見せるというのはどうか。ひきこもりなら「おにいちゃんの花火」や、「ツレがうつになりまして」を見てうつ病の核心を知りました。（男性 40代）
- 広く海外の人々との交流をふやすべきと思う。いかに日本が世界の中で恵まれた国であるかをわかれば、おのずと行動が変わるでしょう。小・中学生のうちに全員海外体験をさせる。お金は親が出す。（男性 40代）
- テレビやマスコミ報道を見て感じることはすべて学校の責任としている感じがするが、家庭・地域・行政が一体となって青少年の健全育成を推進してもらいたい。（男性 40代）
- 働く場所をふやし、企業を誘致する。市民運動として、若い人の参加しやすいイベントをする。若い人が低価格で利用できるシステムをつくる。飲食店・スポーツ施設・書店・車・交通機関、費用の半分を税金で負担して、安く利用し購入できるシステムづくりをする。その他のお金のかかるものすべて安くする。まち全体を明るくする。照明や街灯をふやす（電源は発電する）。（男性 40代）
- 義務教育を終えても高校中退者や中卒者などの育成（健全化）は必要と思う。（男性 40代）
- スポーツ・交流の場（機会）の充実と実践を通じ健全な精神を育成（養成）すること。（男性 40代）
- 青少年を対象とした体験教室や講座を充実させてください。（男性 40代）
- 青少年の健全育成は親の責任と考えるが、40歳までが青少年の対象であれば、既に親となっている青少年もいることを考えると、一概には答えられない。親になれない親も多いと思う。青少年であっても親となった以上は子の責任は親にあると思う。広報ふじ11月20日号には、この調査の概要のみでなく、これにかかった費用の内訳と、どのように活用されるのかを具体的に掲載してほしい。（男性 40代）
- 病気などで仕事や学校に行けないのは仕方がないと思うけれど、健康な人はもっと社会に出て行けるよう教育してほしい。（男性 40代）
- 青少年の健全な育成に重きを置くのはすばらしいことであるが、間違いを犯した人への厳罰を科すことも必要である。社会生活をまともに送るとともに、他人への迷惑を真摯に受け止めることができるように更正するプログラムを早急に作成してほしい。（男性 40代）
- 小学生からの教育が重要と思います。子どもがいたずらをして昔みたいに雷を落とす人がいない。表面化してから動くのではなく、根本的に問題があるのであれば、市としてどこまで対応するのかわかりませんが、もっと相談できる人や施設をふやすべきだと思います。（男性 40代）

- 富士市は大人がなっていない。地域柄かもしれないが、特に治安もよくない。近隣地域（沼津市・清水町・三島市）をよく見てほしい。富士市は暴力・覚せい剤の話をよく耳にする。学校の行事などに行っても親の身なりを見ればよくわかる。すべては家庭から。道も夜暗い。ゲームセンターがありすぎ。（男性 40代）
- 家庭におけるしつけの強化。“「おはよう」、「いただきます」、「ごちそうさま」、「いってきます」、「ただいま」、「おやすみ」などの言葉を家庭で使っていますか。「ありがとう」、「すみません」の言葉の意味がわかりますか”などのポスターをつくり配布する。または学校で教育する。家族のある人は「親がしっかりとした行動をとっていますか」などの文言を入れたポスターをつくる。（男性 40代）
- 見守る大人が責任を持って、青少年のとり言動に対して保護するシステムを確立するべき。他人が言えない（言い難い）社会環境をなくすことが、青少年を育てる社会をつくる方法と考えます。（男性 40代）
- 最近、子どもがキャンプをしてみたいと言い出した。親は自分の親と一緒にやったことがないので、よくわからない。青少年の船はつくられた場所によって計画されていたので、お金もかかる。まずは貧乏でも生きる方法を学ぶために、サバイバルなことをプロから教えてほしい。子どもは「サバイバル」という言葉が好きです。学校行事に取り入れてほしいと思います。（男性 40代）
- 子どもが小さいために青少年の育成に関してはあまりピンときませんが、健全育成の名のもとに、町内会に丸投げするのだけはやめてほしい。行事ばかりふやしても、そのための役員になれば若い世代の負担ばかりふえ、ただでさえ少子高齢化で働く世代の負担が大きくなるのに、若い世代が疲弊します。町内会や子ども会の活動は、負担が少なくなるよう指導を徹底すれば、参加する人間もふえ、ギスギスしない人間関係が築かれ、子どもにもよい影響を与えたいと思います。（男性 40代）
- 学校やまちづくりセンターなどの施設はあるのだから、それらも活用して青少年が参加しやすいイベントを考え、実施する。費用のかかる青少年の船などは、一部の参加者だけのもの。不要である。安い費用で可能なイベントを考える。基本は家庭にあると思う。小・中学校へ押し付けはできない。何が健全育成なのか。人それぞれでいろいろな考え方があるから難しいと思う。（男性 40代）
- 家庭で気をつけてコミュニケーションを取っていても、子どもが事件を起こせば、親は「どうして。なぜ。」となってしまう。昨日までは「うちの子に限って」と言っていたのに、一変してしまう。今の世の中、親は自分の子育ての仕方を間違っていたと反省するが、本当にそういうことが原因なのだろうか。親は自分を見つめ直して考えるが、答えは永遠の謎。高い代償を払って、相談する相手もなく、精神的に参ってしまう。メンタルな部分の救助が必要である。（男性 50代）
- 育成は親であり、学校教育で培われるべきであり、現状は双方ともに責任を放棄した結果と思っています。社会人としてルールとマナーを厳守できる人づくりが問題解決の原点だと思います。（男性 50代）
- フィランセにおける相談業務を充実してほしい。現在も相談業務は行っているが。例えばソーシャルワーカーを常駐させて相談や電話対応に当たってほしい。（男性 50代）
- 青少年が集い活動する場が少ないと思います。防災訓練や地域の体育祭などに手伝いに来てくれる中学生などは本当に協力的で素直な子どもたちばかりです。勉強・インターネット・ゲームなど他人とのかかわりが少ない生活を送っている青少年に、地域と人が必ずかかわらなければならないような活動(ボランティア)を地域・学校・市で考え、実行して行くことが重要と考えます。（男性 50代）

V 自由意見

- 家庭における家族関係や環境がかなりのウェートを占めていると思うが、その根本を解決していくのはとても難しい問題。プライベートな部分にも踏み込んでいかなければならなくなる。
(男性 50代)
- すべては学校に原因があると思います。落ちこぼれは1度外れたら、今の世の中では難しい生き方しかできない気がします。確かにそういう人でも成功したり、立派な人はいますが少数です。親の教育と学校の対応の仕方と思います。
(男性 50代)
- 富士市の成人式は、新成人のために行われているとは思えません。会場に入れない大勢の人や一部の迷惑行為をする若者が目につき心が痛みます。もっと心のこもった成人式を地区で実施すべきだと思います。ぜひ実現してください。常日ごろから私たちは、地域全体で青少年を育成していく意識を持って生活していきたいと考えています。
(男性 50代)
- 子どもの教育は家庭が基本だと思います。親自身が子どもと向き合い、子どもに寄り添い、一生懸命に働く姿を子どもに見せることが大事だと思います。何か問題があると学校や先生のせいにするのはどうかと思います。幼いころから好きなスポーツなどで人間関係を学ばせることも一つの方法だと思います。今の子どもたちは物にあふれて恵まれています、人の心を思いやることに欠けているような気がします。
(男性 50代)
- 将来の生きざまというより、現時点で仕事なりを自分なりにできていればよいと思う。
(男性 50代)
- どんなことでも一方向とならないよう、青少年の意見を聞きながらよりよい方法を見出すことが必要と思う。青少年が考えている不平不満も聞いて、可能な限り解決させることができるとよりよい。地域の青少年が参加する活動を活性化させるようにしたい。
(男性 50代)
- 青少年の船のような、費用対策効果の低いものはやめる。青少年が頑張る目標になる、ダンスコンテスト・バンドコンテスト・イベント企画コンテストなど、お金のかからない事業を行う。
(男性 50代)
- 少年育成に、サッカー以外にも多くの種目のスポーツ文化（将棋・囲碁・音楽・ダンス・チアリーディングなど）を盛り上げ支援していったほうがよいと思う。そして頑張った人が認められる体制にしていくとともに、山梨・愛知・神奈川などの近県との交流を進めて、エネルギーを発散させる支援をしていくことが大切と思う。正直な人が報われる環境づくり（人の問題）。若者が楽しく気持ちよく社会に参加できるメンタルサポート、テレビ・ラジオなどでの取り上げ、PR、とりわけテレビは東京地域中心となってしまい市の情報がほとんどわからない。市役所も努力しているが、それが見えてこないのが残念である。マスコミの改善を望みたい。
(男性 50代)
- 自分で考えて行動する力を身につけてほしい。口頭で話したことを理解するのが難しい子がいるので、口頭でも理解できるようにしてほしい。人を見て何をすべきかがわからない子がいるので、今何が必要なかをわかってほしい。
(男性 50代)
- 生きていることへの実感・目標・目的をクリアした達成感など、青少年期にしかできない体験情報などを広く開示し、若者の行動力アップにつなげてほしい。
(男性 50代)
- 青少年の健全育成は家庭からであり、家庭内がまず健全でなければならない。
(男性 50代)
- 学校の勉強だけではない勉強が自分自身で体験できる（やはりアナログで）ことが大事。そうした機会を早くから得られることが大切と考える。
(男性 50代)
- ニートやひきこもりにもいろいろのタイプがあります。タイプに合わせての支援や対策を考えてほしいです。
(男性 50代)

- 青少年を対象とした対策だけではなく、親の教育も大切と思う。インターネットを使った対策をもっと進めてほしい。
(男性 50代)
- 弱い者やはい上がれない者が悪いといった声が大阪あたりから聞こえてくる。困ったものです。認められているという実感が、人が育っていくためには必要。それも「声」などではなく「制度」として。
(男性 50代)
- ごみの分別もできないような家庭で、健全な青少年が育成できるとは思わない。
(男性 50代)
- ニートやひきこもりは20~30年前はなかったように思います(不登校はあった)。やはり、一番大切な親のしつけや学校教育に大きな問題があるのではないのでしょうか。教育者(先生)のサラリーマン的行動、ものの考え方、親の共働きによる放任主義、会話不足など、昔の子どもは、家の外で伸び伸びと夕方まで遊び、上下関係もしっかりとしており、悪いことをすると周囲の大人からどなられたものです。とにかく、家庭・学校・行政がもう少しさまざまな角度から目を向けるべきだと思います。知識や教養は人間性を豊かにするものです。学校の先生はもう少し教育とは何かを勉強する必要があります。家庭訪問のとき、あきれするような言葉が返ってきてびっくりしました。
(男性 50代)
- 青少年が就労する場合、安定した仕事を得られるかどうかは、高校を「卒業」しているかが大きく関わっていると考えます。ささいなことでひきこもってしまい、高校に進学できなかったり、中退したままだったりすると、その後社会復帰しようとしても、アルバイト程度の職しか見つけられない場合が多いと聞く。そこでまた、ささいなことでつまづくこと再びひきこもりに戻ってしまい、望まないのにニートの状態に陥ってしまう。「高校は全日制で中学卒業と同時に進学し、3年で卒業するのが当たり前」という常識を壊し、公立校が受験は年齢不問、単位制や通信制を取り入れて柔軟に対応する高校制度に変えていけば、生徒の多様性からいじめなどは根絶され、大学進学を断念した人も再びチャンスが与えられ、安定した職業に就業することができると考える。
(男性 50代)
- 青少年の幅が広すぎてよくわからない。もっと年齢的に細分化して考えたい。
(男性 50代)
- 家庭教育である親の教育が必要と考えます。学校教育の中に社会教育を取り入れた、広がりのある教育が必要と考えます。ボランティアで活動している青少年教育者を活用したプログラム(グループで活動する野外での体験活動)などを学校教育に取り入れた教育システム、青少年の健全育成はフォーマル・インフォーマル・ノンフォーマルが協力し合うことが必要と考えます。
(男性 50代)
- 日本が戦争に負け、大切なことを失ってきたのは事実だと思います。戦前の教育はすべて悪いと捉えられていますが、そうではないと思います。まずもっと愛国心により家族への愛、周りへの愛があると思います。国民にとって一番大切なことを捨てさせる教育をしてきた弊害が災いしているのではないのでしょうか。戦勝国の思うつぼとなっていました。
(男性 50代)
- 親子間の信頼が必要であるため、子どもと話をする時間を多くつくり成長の手助けをすることが重要。
(男性 50代)
- 不登校の子どもがいました。現在は転校して一応の解決としていますが、前学校の担任の無責任・他人事・厄介払いなど、父親として大変つらい思いをしました。多くを語りたいたいが、ぬかに釘なのでやめておきます。
(男性 50代)

V 自由意見

- 家庭内においては、親（特に父親）が子どもを当然しつけ、道徳を重んじる。学校においては、今の成績だけを重視する教育を改め、社会秩序を守り協調性を持った人間形成を目指す。社会においては郷土を愛し、ルールとマナーを守り、世界にも目を向けた器の広い人間を目指す。家庭は家庭、学校は学校、社会は社会、それぞれの中で最善を尽くした方法で青少年を育成することが肝要と思います。（男性 50代）
- 主に家庭でのしつけやふれあいが大切だと思います。（男性 50代）
- 観光や仕事などでいろいろな人が富士市に来ている。これから富士山の世界文化遺産登録などでなおふえると予想される。国際感覚を身につけるためにも、市や学校などで、他国との文化交流などをふやすべきです。（男性 50代）
- 保育園、小・中学校・高校の先生の育成。（男性 50代）
- 幼いころの道徳教育が不足しているのではないかと。また、学校教育では、ある程度の体罰は必要だと思います。（男性 50代）
- P T Aや子ども会など地域の青少年育成団体の活動に協力し、心身ともに健康で未来に希望を持った青少年の育成が必要。（男性 50代）
- 青少年個人の力に任せるのではなく、周囲の環境づくりが行政の責任だと思います。活動していることをPRするのではなく、青少年のためになることに取り組むことを期待します。（男性 50代）
- 富士市の活動自体が見えていない。（男性 50代）
- 家庭と社会環境の整備でしょうか。この親にしてこの子ありといわれるように、保護者の存在は子どもの価値観や性格に大きく影響します。私たちを含め、これから親になるであろう世代の人たちが公の教育の現場で「児童心理学」や「育児」についてふれてきたことがあるのでしょうか。教育は大切です。高校を卒業すると社会に出る子どもたちも大勢います。公の教育の現場で月に1時限でも児童心理学や育児を学ぶ機会を設けてほしいと思います。また、環境の整備について、性風俗に関する情報がちまたに散乱しています。インターネットを開けばいつでも見放題の家庭は多いのではないのでしょうか。子どもたちのいる家庭では少なくともスマートフォンを含めて規制するべきです。公の教育現場の広報紙などで、「父兄」と表記されているものがありましたら、今後「保護者」に変更してほしい。父（母）兄がいない家庭もあるのです。細やかな対応をしてほしい。（男性 50代）
- 健全育成という言葉の意味合いが広すぎてどう理解してよいかわからないが、社会的自立をするための基礎形成と捉えると、まず真っ先に思うことは、成人といわれている私たち大人が自立すること。青少年をどうこう言う前に、私たちがどうするのかを真剣に考える必要があるだろう。経済の成長のみを目標として、楽しもうけることが成功と捉える風潮を変えることもひとつだし、毎日同じことの繰り返しで変化のない生活をコツコツと積み上げていく人生も大事と知らせることもひとつ。お金ではなく一人一人の価値観を大事にする世の中を若い人に見せることができればいいと思う。子どもは大人の生きる姿を見て育っていく、見ていないようでも子どもは大人の行動の隅々を、いろいろなところを見ては、自分との距離を測り尺度を決めている。子どもだからという区別は通用しない。煙草も酒も夜遊びもインターネットも暴力もいじめも不登校も、大人だから子どもだからの区別は通用しない。子どもはすべてを映す鏡だからこそ、大人の利害関係やしがらみや裏表を知らせることが大事。理解しなくてもいい、知ればいい。できるならば会社会的・組織的地位や立場と、人間としての尊厳や平等の違いを理解してもらえばいい。不安や希望を抱きながら、大きく揺れながら大人になろうとしている子どもたちに、自分の過去の経験をいいように当てはめて伝えるのだけはやめて、これからの未来を背負う若者に希望が持てるような地域社会を私たちがまず築くことを進めたいと思う。（男性 50代）

- 他者への思いやりや、優しい心を持った青少年になってほしいと願っています。多くの青少年が優しさを持っていると思いますが、なかなか行動として表す場面が少ないことも事実です。そういう優しさをもった青少年の行動をもっとPRできればいいと思います。(男性 50代)
- 青少年にどのようなことがしたいのかとか、どんなことがわからなくなっているのかなどを話し合ってもらい、それに対して地域ができるものであれば開催すればいいのでは。地域の運動会もマンネリ化していると思うのですが(役員になると出席する)、参加意欲があまりわからないのは私だけでしょうか。(男性 50代)
- やはり、家庭が一番大事だと思います。(男性 50代)
- 人は本来、無垢な状態で生まれくるものです。成長とともに問題が生じるのは、それを取り巻き利用する身勝手なメディア・政治・経済・司法など、大人に都合よくつくられた、どうにもならない仕組みがあるからである。それでもこのような社会や風潮の中で、しっかり健全に育った青少年も思った以上に多いと思います。(男性 50代)
- すべての青少年の成長は、大人の生活・態度・言葉・気持ちにかかっていると思います。年代ごとに成長できる社会がいいと思います。「生まれる前」は、子どもを大切に作る心が育まれているか。「幼児期」は、子どもの自主性を大事にし、周りのみんなで助け合い育てる心遣いがあるか。「教育現場」は、相手の気持ちをわかり合う心や、言葉で表現するとき相手の心に痛手を与えない言い方を身につける。若者の時期は、仕事やスポーツなどで共同作業や助け合う体験を通して人を大事にする。そのために必要な施設の充実や人の手間を惜しまずかけて、予算もつける必要があるのではないかと思います。また、これらとともに、親の貧困化の解消がなければ難しいのではないのでしょうか。(男性 60代)
- 親の育て方が大事。(男性 60代)
- 社会問題であると思う。幼いころからゲームや物品を自由に与え、友人や先輩と外で健全に遊ぶことが乏しい。親や目上の師に対する言葉遣いや態度が教育されていない。(男性 60代)
- 昔、青年団に入っていましたが、現在、自分の住む地域にはありません。本人がそこに入っているいろやってみるとよいと思います。(男性 60代)
- 現社会の生活環境が悪影響を及ぼしているのではないのでしょうか。家庭内の事情や親のしつけの緩慢などが多くは原因でしょうが、難しい問題と思います。学校教育の育成に問題があるのか、もしくは一般教科ではなく道徳的な精神的な教科を充実する必要があるのではないのでしょうか。個々ではなく集団を必要とするほうに捉われるものでなく、自然と解け込んで行けるような集団授業も検討の余地があると思います。一人になる時間を多くし、縛りつけるのではなく、近辺の子どもたちと気軽に遊べるゆとりのある生活環境も必要と思います。(男性 60代)
- 今の子どもは携帯やメールなどのあふれる情報と、友人・友達にものすごく気を使う。そして皆一緒に好きなのかと思う。個人があるようでないように見える。「己がある」ということに早く気づき、自分を大事にして自分を好きになり、流されない己を持つことがすごく大切と思う。また、そのような話ができる家庭がありきと思う。(男性 60代)
- これからの世の中を生き抜くために小・中学生の教育のあり方の見直しが必要。ゆとり教育もいいが、もっとしっかりした教育をしてもらいたいです。(男性 60代)
- 青少年の育成は大人の責任で、子どもは国の宝の考えから、地域で育てなければならない。私の亡き母は他人の子どもを大切にされた。あるとき質問すると、子どもはかわいい、自分の子どもはもっとかわいいと言われた。自分の子どもがかわいいので、他人の子どもも大切にするという考えだった。(男性 60代)

V 自由意見

- 青少年の船が廃止となったので、それに変わる誰でも参加できる事業を早急に行ってほしい。
(男性 60代)
- 自分の住む地域や市・県・国についての教育を充実させる。ボランティア・学校の文化・体育・部活を通し、他人や社会とのかかわりを実体験する。アジアや近隣諸国、特に韓国・中国・ロシアなどとの問題の事実関係をはっきりと教えて、その対応や心構えを認識させる機会を多く与える。富士市民として、富士市の歴史・現在・未来を指導してほしい。勉強・スポーツ・文化活動に優秀な人材をより優秀にし、社会に広報していく。勉強や活動できる場を多く提供する。指導できる人材をネットバンクするシステムをつくる。富士市を花や緑のある富士山とマッチした明るいまちにする。青少年にアイデアを募り、彼らに実践させる。
(男性 60代)
- 周りの人とのかかわりが少ない。幼いころからいろいろな人の中で育てることが大事。スポーツでも、遊びでも家族だけでなく、多くの人とのかかわりの中で我慢したり悔しかったり、泣いたり笑ったり、いろいろな感情を育てることが大事。こういうアンケートで多くの人の意見を聞くことは大事と思う。
(男性 60代)
- 定年の延長、再雇用などにより、若者の働く場が減少しているのでは。正社員でない、フリーターが多く見受けられる。フリーターやアルバイトなどで生活できる世の中が問題。
(男性 60代)
- 親と学校教育が一体とならなければ青少年の健全育成にはつながらない。
(男性 60代)
- 地域の青少年に接し、いろいろと感ずることがあります。地区での対応は地域の力、各諸団体やボランティアは総合力、家庭においては家族の絆で守りつつ、青少年にとっては現在未来を健やかに育み、健やかな笑顔、地域の宝として大人の一人一人が共有することが大切ではないでしょうか。
(男性 60代)
- 事件にならないと動かない警察と同じような児童相談所や子育て支援では機能していないのと同じである。青少年活動の指導者はやりたい人がやることのないように、資格や技量確認を定期的に行うほうがよい。
(男性 60代)
- 子どもが少ないことも大きな要因だが、外で遊ぶ子どもが少ないように思う。子どもの中に遊びに長けたリーダーを育てることも必要ではないか。地域でもっと遊べる環境をつくってやらなければならない。
(男性 60代)
- 小学校入学前の教育としつけが大切。3歳までに親が子どもをどう育てるかで決まる。そのためには、親がどう考えて子どもを育てるかが重要で、マナーを身につけた子どもを育てられる親でなくては何をやってももう遅い。
(男性 60代)
- 健全育成というと、若者に対して上から目線に感じてしまう。そうではなく、逆に若者から見たとき、富士市が魅力あるまちに映っているかを考えるべきでは。つまり、このまちで働き続けたい、移り住みたい、と若者に感じさせるまちづくりを目指すことが先ではないか。若者が減少しているまちに健全育成といってもナンセンスに感じる。
(男性 60代)
- 世の中が豊かになり、物を買って与えるため、その大事さや大切さも薄れていると思う。家庭内の絆が関係しているのであろうか。
(男性 60代)
- 道徳心が足りない。ごみを平気でポイ捨てする。小学生のころから見かけだけを重視しすぎる。中身が大事であることを教えるべき。
(男性 60代)
- 家庭内で親子が話し合える家族。
(男性 60代)
- いつの時代でも親や家庭環境が青少年の育成には大切と思う。さらに地域・社会環境の青少年に対する、厳しいながらも温かい導きを注視してやることが重要と考える。
(男性 60代)

- 私（団塊世代）を含め個人主義も進み、便利で豊かになり価値観も変わっています。高度情報化も進んでいますが疎外感が多いと思います。それらにより、ニート・非婚・熟年離婚などが顕在化していると考えます。そういう意味では本当に豊かなのかわかりません。一方では近ごろの若い者論になりますが、ハングリー精神が少ないと感じます。私の子どものころは、敗戦国で貧しくみんなで頑張ろうという気持ちがあり、それが希望へとつながっていました。その意味では一見便利で豊かな社会では、ハングリー精神は育ちにくいと思います。急激に変化する世の中に対応は難しいが、仕事面では賃金は多くなくても正社員の待遇をして能力を引き出すことが必要と考えます。最後に、投票は行くべきと思います。（男性 60代）
- 人間一人一人の努力が必要。それを後押しする人も必要。（男性 60代）
- 家庭におけるしつけが大事だと思います。（男性 60代）
- 青少年は勝手に生きるものであり、健全育成という言葉は70歳近い私にも気持ち悪い。健全でない老人が好きそうな言葉である。公務員は結構安全です。じっくり時間をかけて富士市に住んでいる人の生き方を変えてください。まだまだ行政は甘えています。（男性 60代）
- 東京生まれで東京育ちの私は、少年時代は年間を通して、ボーイスカウトをはじめ友達と一緒にアウトドアに夢中でした。最近問題になっているいじめなどは、ほとんどなかったように思います。現在孫のいない私の家では、子どもたちの様子はあまりよくわかりません。（男性 60代）
- 人間には性格があるのでこの問題は難しい。しかし、何もしなくてもいいわけではない。（男性 60代）
- 補導や相談体制の充実、また非行に対する罰則の強化を望む。家庭も学校も機能しているとは思わない。青少年に対して甘すぎる。もっと相談活動を進めてほしい。富士市は相談活動がなさすぎると思う。（男性 60代）
- 他人に対する思いやりや協調性を持つ若者は、私の世代の者からみれば、よくできる人間ということになるのか。（男性 60代）
- 子どもを育てるには難しい時代に入ったと思う。「心」「体」「知」というが、大人の私がわからないことばかりである。自分の子には「大志を抱け」という言葉をかけてきました。（男性 60代）
- 昨今、できちゃった婚などの恥ずかしさがわからない子どもがふえているが、親もできちゃった婚を社会の流れと捉えて何も言わない。親は性に対する教育ができず、学校に任せきりでいる。もっと子どもと裸のつき合いをし、青少年の育成を考えないといけない。（高等学校教育が終了時）3年間の青少年の社会道徳教育（教練）をやらないと日本の未来はないと思います。人間社会が狂っている（子殺し・親殺し・命の軽視）。（男性 60代）
- 富士市がやるべきことはなにか。先生の考え方はよいと考えるか。困ったときの対応はどうすべきか。これらの明確な方針が市にあるのか。その上で市民に問いかけをすべき。窓口だけつくり、解決になってないと思う。根本的に深く考えていない。富士市は税の余裕があるうちに、次の一手を打つべき。時間がない。近隣の市町村に負け始めている。教育委員会は何をしているのかと思う。（男性 60代）

V 自由意見

- 私は15歳で会社に勤め始め、現在63歳になります。この間、多くの職場の人と仕事をしてきました。このような人なら自分もまねしたいと思った人も数多くいましたが、その一方でこんな人にはなりたくないと思う人も数多く見てきました。特に会社の上司には嫌な思いしか残っていません。時々、この人の子どもたちは家ではどうしているのだろうかと思うことが多くあります。世の中、多くの人がルールやマナーを守りながら生活していると思いますが、あまりにも差別（会社では昇給、昇進など）が横行しすぎてはいないでしょうか。また、お金のある人が一番えらいとの風潮があるのではないのでしょうか。ニート・ひきこもりや年収200万円以下の労働者にならないために何ができるか、多くの人が協力し合っている世の中にしたいと思います。富士市職員も頑張っしてほしいと思います。
(男性 60代)
- 小学校に入学する前にしつけなければならない問題がたくさんあると思います。かわいいだけの毎日ではなく、親としての責任をもう少し自覚してほしいと思います。例えば「家で子どもはテレビばかり見ていて困ります」など、親が指導しなければならない問題を先生に押しつけるような意見が多いと思います。
(男性 70歳以上)
- 小学生時代の教育方法としては、高齢者を利用した親しみを持てる社会教育を、月1回定期的に行うことも一つの方法であろうか。
(男性 70歳以上)
- 私は一人っ子で育ち、友達が少なかった。今の子どもは昔の自分のような環境の人が多いいと思われるので、ひきこもりやニートが多くなると思われる。
(男性 70歳以上)
- 学力と同等に、クラスメイトや友人と歴史認識や社会を見聞し、その中で体験できることがあれば取り入れていく。
(男性 70歳以上)
- 自分で目標を持って、社会のマナーや決まりを守って生活することが大事。
(男性 70歳以上)
- 家族の中で、特に親が愛情深く、よいこと悪いことを幼いころから教えること。厳しすぎず、逃げ道（場所）もつくってやれるとよいと思います。
(男性 70歳以上)
- 気楽に参加できるイベントが少なすぎる。特に若者が本気で燃えるようなイベントが少ない。気楽に動ける交通手段がない。車がないと生活しにくいまち。
(男性 70歳以上)
- 家庭で親が自分の子どもをしっかり見つめて、ほったらかしにしないこと。学校の先生はよいこと悪いことを区別して、しっかり子どもに教えること。どうしても聞かないことは叱りつけ、外に立たせる、尻をたたく（これは体罰ではない）。先生全員が保護者の顔を見ながら教育しないこと。いじめで一番悪いのは、いじめている両者をそばで見ている何も言わず、終わってから陰で先生や親に告げ口をするずるがしこい子どもである。いじめる子どもも悪いが、一番なくすべきなのは、ずるがしこく立ち回る子どもたちである。教室で先生はしっかりと叱ってほしい。
(男性 70歳以上)
- ひきこもりはいじめを受けたり、親が共働きで家族関係がなかったり、友達が少なかったりする子に多いのではないのでしょうか。近くにもひきこもりの女の子がいますが、一度も見たことがありません。人に知られたいから隠すのかもしれませんが。それではひきこもりは治らないと思います。
(男性 70歳以上)

- 昔も今も同様です。学校時代や社会人のとき、早い時期に話し合える友達を多く持つことが大事と思う。さらに友達ができたら家族にも話すことも大事と思う。話すことにより家族にも友達を観察し、何かのときにアドバイスをもらうことができる。これによりひきこもりやニートにはならないと思う。私の家族は子どもが低学年のとき、昔の市民会館でNHKの鈴木健二さんの講話を聞き、妻と話し「あいさつ」を家庭で親から子どもにおこなった。はじめは妻も恥ずかしがっていたことを思い出し、子どもが就職しても電車通勤だったので下車したら「あいさつ」するよう話した。すると子どもが職場の人気（年輩の人が会社に来て話していたことを聞く）になり、どこでも「あいさつ」の必要性を強く感じた。（男性 70歳以上）
- 富士市には、富士山をはじめ愛鷹山・岩本山・富士川など、多くの自然があります。自然を利用しての市民と青少年の健全育成を願います。（男性 70歳以上）
- 社会環境の整備、まず大人から見本を示すこと。富士山が世界遺産登録になったことより、明るいまちをつくるため、青少年の健全育成について“富士山世界遺産登録”を有効利用しよう。工業都市から観光と工業の両立都市に変革すべき。青少年に希望を与えることができる。（男性 70歳以上）
- 自分に関係がないと、くさいものにふたをするがごとく、他人事のように他者とかわりを持たないほうがよいと思う風潮がある。（男性 70歳以上）
- 私は戦時下の生まれ育ちで、食べ物・着る物・履く物、全て物資のない時代でした。青少年の健全育成について、参考になるものはほとんどないと思いますが、決定的に違うものが一つあります。それは仲間をつくってよく遊んだことです。いじめなどというものは全くなかった。学校に行くときも、皆全員そろってから行ったものです。帰りも待っていて、できるだけそろって帰って来た。帰って来てからも、いろいろな工夫して遊んだものです。夏休みになれば、地区の共同作業場に朝食前に集まり、「朝読み会」を、雨が降っても日が照っても毎日やった。上級生が下級生の面倒をみた。宿題なんかも皆、ここで書いたり、つくったりもした。中学生になると、朝読み会には入れなかった。残念だったと記憶しています。やがて、中学を卒業して地区の青年団に入った。後輩ができるまでは使い走りの役だった。夏も近づき、お盆に団で慰安会をやるとのことで、劇の練習、唄や踊りの練習も必死になってやった。皆心を一つにして、お盆には地区の人が見に来て喜んでもらえた。現在のように塾などはなかった。先輩が先生だった。こうして絆が固く結ばれ、落ちこぼれなどはいなかった。今はこれが一番稀薄になっていると思います。地域対抗の運動会は結構盛り上がるので、生ごみ減量も地域対抗で検討できないか。まちづくりセンターを中心にし、小・中学生も巻き込んでやったらどうか。（男性 70歳以上）
- 学校教育で、低学年から英語の学習を実施するとのことですが、日本語の理解や文章力が育つ教育が先ではないか。英語でどのように日本語の意味を伝達するのか。中途半端な英語文や発音では、相手に十分に日本人としての意思が通じないのではないか。「日本の国語の理解力をつける」、「日本の国の成り立ちを理解する」、「日本文化を理解する」、「日本国は世界の中でどんな位置にいるのかをしっかりと理解する」ことが大切である。（男性 70歳以上）
- まず時間厳守、自立性を守る、自分で物を直す。（男性 70歳以上）
- 地区に不登校の児童や集団規律行動のおくれがちな児童がいるので、学校からの依頼で保護者に会うことがありますが、一般家庭と違い、偏った考えに驚かされることがあります。親や家庭がある程度の生育をしていないと、子どもに及ぶ影響が大であります。居留守を使う親や、約束を守らない親の姿勢がそのまま子どもに表れていて、昔の親は自分が貧しくとも、他人に迷惑はかけまいと必死でいる人たちが大多数であったのに、今は着飾って外食をし、観光地に遊びに行き、子どもの将来を考え、まともに生きていけるか疑問。しつけの面で劣ること大です。（男性 70歳以上）

V 自由意見

- 義務教育時の社会への協調、家族への思いやりなどを真剣に教育することが肝要であると痛感する。
(男性 70 歳以上)
- 青少年相談所をもっと市街地に近いところへ移動してほしい。
(男性 70 歳以上)
- 何でも話し合える明るい家庭。近所の大人が子どもに話しかけ、挨拶をする。
(男性 70 歳以上)
- 家庭での親によるしつけ、特に幼児（3 歳児）教育が重要である。
(男性 70 歳以上)
- 親がまず見本となるために勉強すること、その一言に尽きると私は心から思います。
(男性 70 歳以上)
- よい悪いの指導では難しいのではないかと。私たちは「先生」が恐ろしかったと思う。両親が心を引き締めて取り組むほかはどうすることもできないと思う。
(男性 70 歳以上)
- 問 22 の中で、2（青少年問題の相談窓口の充実）と 6（青少年活動の指導者の育成）が大切なことは十分理解できる。しかし、知る限りでは、資格と能力を備えている人はほとんどいない。ただそれが自分の職業としか思っていないで、本人が教育された範囲の中でしか相手の中へ入っていけないのである。それではいけない。相手の立場になりきって相手の中に可能性を見つけ出し、相手も自分の中の可能性に感激し、感動して今日よりも明日のあることを自覚することができる。そういうことが 2 と 6 の人の仕事のはず。過去に都内で中卒以上の人間と高卒以上の人間を対象にした落ちこぼれ人間集団を教育した経験からの意見です。
(男性 70 歳以上)
- 現在 1 日 1 万歩に挑戦中です。近隣を歩いていると幼児から中学生くらいまでの人に会う機会が多くあり、数は少ないが幼児から「おはよう」、高校生男子から「こんにちは」と私より先に声がかかる。本当に充実したうれしい 1 日である。子どもから大人まで全員が挨拶できる社会にしたい。高齢者にはまだまだ活用できる人材がいっぱいいる。ボランティアで毎日 2・3 時間くらいでも。働く喜びの一環で、知恵を出すことができると思います。ぜひ活用して地域社会を豊かなまちにしたい。
(男性 70 歳以上)
- 学校・家庭・地域社会によって連携された人格形成を基本に考えてきたと思いますが、このバランスが崩れ、情報化に戸惑っている現状と思う。未来に希望の持てる社会の構築のために、足元から見直す必要がある。
(男性 70 歳以上)
- 今は少子化の時代ですが、自分には兄弟がいて、貧乏ではあったがそれなりに育ってきたと思う。今は親が教育に口を出しすぎ、教師が小さくなり言いたいことも言えず、モンスターペアレンツと化していることを聞きます。お金があるのに給食費を払わないなど、子どもはそれを見て育ちます。しつけは家庭、教育（勉強）は学校と、分けがはっきりしていれば多少はよいのかもしれない。今の親はしつけまで教師に押しつけるという友人がいました。子どものためといいながら、子どものためになっていないと感じました。子どもたちが健やかに育つことを願います。
(男性 70 歳以上)
- 難しい現在の中、誰もが人を思いやり（日常の中で本当に小さいことなど）ありがとう。感謝を忘れることなく、自然に出る言葉が使われるようになれば健全育成につながると思います。
(男性 70 歳以上)
- 現代社会への適応能力が欠如しており、流れについていけないので楽な道に逃げてしまう。家庭でしっかり教えることに尽きる。自助共助の世界のあり方の教養を高めることが最重要である。
(男性 70 歳以上)

- 青少年の健全育成に関しては、あまりにも大きな問題であり、これといった方法は見つからないように思うが、時代とともにいろいろな考え方があるように思う。だからこれから10年・50年・100年と先を見越して育成をすることが必要ではないか。公共機関の青少年の健全育成に関する人々が知恵を出し合ってほしい。それに各自、親子・社会も協力して目標に向かっていくべきと思う。
(男性 70歳以上)
- 生活の向上と相まって価値観も多様化し、近隣住民のつき合いや子ども同士の遊びやつき合い方も大きく変化してきた。かつては地域には強いリーダーがおり、その人のもとに地域活動が活発に行われ、バランスの取れたコミュニティが図られていた。こうしたことを考えると、地域をまとめることのできる人材の育成が重要であり、コミュニティの再構築に取り組む必要があると思う。
(男性 70歳以上)
- 身内でも他人でも気安く語り合い仲良くすること。若い人の意見もよく聞いてやること、話をする楽しみがあることを大いに期待する。
(男性 70歳以上)
- 雇用をふやす。悪いところばかり見ないでよいところも見てやる。
(男性 70歳以上)
- 子どもを自立した大人にすることが教育であると思うので、親やその他大人の過干渉は、最も危険であると思います。小・中学生のころからどんな大人になるのかを考えさせる必要があります。もちろん、どんな職業に就くかという目標を持つことは大事ですし、人はどのような考え方を持てばよいかなど、自然に教育していくことはまずは家庭にあると思います。人の考え方は人それぞれですが、広くマスコミやPTAなどで人の生活とは、自立とは、という議論をしたほうがよいと思います。
(男性 70歳以上)
- 自分の目標を持って、すべての言動に責任を持って行動をする。ふるさとの誇りを持ち、世界に貢献できる青少年に成長してほしいと思う。
(男性 70歳以上)
- 青少年の健全な発達を望むのは誰でも同じ。一番は家族関係・特に親との関係が大事。社会とのつながりも大事だが、発展する社会においては無理。要は何のために生きるのか、生活するのかなど、本人が自覚するよう周りが教え、導くこと。しかし受ける・受けないは本人次第であろうか。難しいです。
(男性 70歳以上)
- それぞれ違う環境で育ち、違う考えを持っているので難しい問題です。
(男性 70歳以上)
- たくさんの人と交流することが青年期には必要と思う。
(女性 20代)
- 青少年に関する問題として、若年者の離職問題があげられていますが、若年者だけの問題ではないと思います。働く側の若年者にも、もちろん問題はあると思いますが、雇う側にも原因はあると思います。給料に見合わない労働時間や拘束、上司からのパワハラなど、仕事は好きでも職場の環境が悪く、仕事を続けられない人も多いと思います。私もその中の一人でした。「最近の若者は責任感がなく、意気地がない」とよく言われてしまっていますが、仕事を続けたくても続けられない現状があるといます。
(女性 20代)
- 保育士や教員の数をもっとふやしてほしい。
(女性 20代)
- 家庭内でのしつけ、教育などができていれば、このような問題も起こらないのではないのでしょうか。親が子をしっかりと見守り、ともに育たねば問題も解決はしないでしょうし、まずはそういったことを話し合える環境が必要だと思います。
(女性 20代)

V 自由意見

- 私は、今年就職活動を行っていたので、新卒者の就労・若年者の離職問題について言及したいと思います。私は地元で就職したいと考えていたので、市内はもちろん県内を視野に入れながら会社を選びました。しかし、そこで感じたのはインターネットに情報が載っている企業が限られていることや中小企業と出会う機会が少ないということです。企業と学生の距離がとてつもなく遠いと思いましたし、市内の企業の情報は少ないものでした。また、若年者の離職問題に関しては就職をゴールと捉えている若年者が多い、コミュニケーションの欠如などが理由と私は考えます。これを解決するためには、幼いころから人生設計を立てたり、将来どうなりたいのか自分と向き合ってよく考えたりする必要があるし、違う世代の人や国籍に関係なく多くの人とふれあえる場があるといいと思います。(女性 20代)
- 道徳心があまり感じられない言動が多いと思うことがあります。仲間や目上の人への思いやりや敬意、自分だけでなく周りを見て考えて行動できる青少年を育成してほしいです。学校の教育も大切ですが、家庭や地域の人にも協力してもらいながら育成してほしいです。(女性 20代)
- 親や周囲の大人が子どもの考えをすぐに否定しないことが大事だと思います。幼いころから、やることすべて「だめ」って言われ続けてきた子どもは、親になっても親の言うとおりにしか行動できません。だから、どんなことでもまず子どもの話をしっかり聞いてあげられるような大人との関係づくりが大切と私は思います。相談所などをつくっても、みんなそれぞれプライドがあるのであまり利用しないと思います。(女性 20代)
- 青少年のみでは成長できないと思う。彼、彼女たちが悩んでいるときに、ちょっとしたアドバイスやちょっと耳を傾けてくれる先生以外の大人が必要と思う。また、ふらっと立ち寄れる場所も必要。そのような環境を駅周辺に設けてみるのもよいと思う。沼津市には駅の近くにある。また、そのような大人が集ってきた青少年を巻き込んでいろいろな体験・講座を行い、その青少年の回りに波及したらいいと思う。大学生時代に京都に行ったときに、そのような活動に少し参加していた。(中京区のみさやまミーティングなど)よい環境だったので、富士市でもうまく取り入れられたらいいと思った。(女性 20代)
- ニートやひきこもりなど、言葉でくくってしまっただけではいけない。メディアなどで当たり前に使われているので、本人も当たり前のことと感じてしまう。他にも同じ人がいるというマイナス方向への安心感もあると思う。根本は本人あるいは家族の問題であることがほとんどで、社会が悪いというのは、ほとんど責任転嫁ではないだろうか。しかし、人それぞれ、成長のペースは違うので、確かな答えはないし、そういう人たちの中で、その経験があるからこそ成功した人もいると思う。(女性 20代)
- 家庭環境をよくすることが一番大事と思う。(女性 20代)
- 市役所は青少年のための施設や箱ものをつくるだけでなく、本当に困っていてその場まで出向けない人々との対話の方法を考える必要があると思います。社会が豊かになればなるほど、問題は複雑化していることに目を向けるべきだと思います。(女性 20代)
- 教育はとても大切です。けれども一般社会を見るにつけ、教育は人間を育てるためというより、取捨選択へのステップになっていないだろうか。他者への思いやりを持ち、自分は例え成績が悪くても受け入れられているという感覚、世界で唯一人の私であるという思いを持って生きている人間をつくるのが本当の教育ではありませんか。成績は悪いよりよいほうがうれしいです。でもそれがすべてではありません。ニート・ひきこもり・家庭内暴力、育ててきたのはその親です。まず親が過去の生き方を内省すべきです。ニート・ひきこもり・家庭内暴力はある点において育てた親の作品です。人が偉くなること以上に大切なのは、一生懸命生きることです。(女性 20代)

- 学校に行けなくなったのなら、行かなくていい。そんな社会でいいと思う。本当に行かなくてもいい、という思想がすぐ出る社会であるといい。ニートでも何でも子どもは生きていなければいけない。どんなことがあっても、どんな状態でも、生きなくてはいけない。それが根本にあってほしい。不登校で学校に行くのを強要された結果が自殺なら、もともと学校なんて行かないことをお勧めするほうがましである。富士市は歓楽街もないし、割と健全な子たちが育っていると思うから、大人が敏感になりすぎるのもどうかと思う。また、いじめや不登校は学校にも問題があるから、教育を改めるのもありと思う。まあ無理だろうが。できればインターネットは一定以上の年齢に達しないと見れないほうがいい。目と頭の毒である。(女性 20代)
- もっとボランティアでも、体験教室や講座などでも、青少年がいろいろ取り組める環境を充実させてほしい。また、気軽に相談できる環境を整えることも大切だと思います。(女性 20代)
- やはり幼いころからのしつけが大事。大人になって急に性格を変えることはできない。また、家庭以外にもたくさんの人とふれあい、たくさんの経験をすることにより自分自身も成長していけると思う。(女性 20代)
- 思っていることをなかなか言い出せなく、追い込まれてしまう人も多いと思う。青少年が抱える問題を解決するため、いろいろな取り組みをしているようだが、今はインターネットなどで情報を知っていく時代だから、実際あまり知られていないと思うし、せっかくなのにもったいない。もっと情報を知らせていくべきと思う。(女性 20代)
- 自分の目標が持てるように努力する。(女性 20代)
- 富士市内から、ひきこもりやニートが少しでも減少し、笑顔で暮らせる日が来ることを願っています。(女性 20代)
- 幼いころにはよく憧れの職業などがあって、「大きくなったら〇〇になりたい」と目標や夢を持っていたけれど、大きくなるにつれてそれを持ちづらくなってしまったり、持つことすらできなくなったりしているように思います。学校や地域での活動を通して、小さなころに持っていた明確な夢や目標を見つけ、それを叶えようとする力や意欲を育てたいと思いますし、そんな社会になってほしいと願います。(女性 20代)
- まだ1歳と3歳の子どもしかいないので、よく考えたことはないですが、ニート・ひきこもり・いじめたり、いじめられたりする子になってほしくないです。私の子は近所のおじさん・おばさんがよくしてくれる。また、おじいちゃん・おばあちゃんもすぐ近くに住んでいて、いろいろな人にかわいがられているので、悪い子にはならないとは思っています。やはり環境も健全育成には影響すると思います。(女性 20代)
- 青少年の育成をさせたいと思っても、希望して自分で申込みをしなければいけないものから、いくつか選択を用意し、義務化していけば、初めは嫌かもしれないが、そのうち自分に合うものを決めて続けることができるようになっていくと思う。まずは、青少年たちが興味を持つことを提案しなければいけないと思う。(女性 20代)
- 生きることに対し、何かやるべきことや目標が見つければ問題なく輝いて生きていけると思う。それが無い人には青年期に人との関わりの部分や体験活動の部分で自己主張しながら取り組めなかったことが原因に感じる。(女性 20代)
- 若者が集まって遊ぶ場所が少ない。人との出会いの場がない。(女性 20代)

V 自由意見

- 心や体の病気でやむを得ずニートになっている場合は、市や町で助けてあげる必要があるが、自分の意志でニートの場合は手を差し伸べなくてもいいと思う。そんな人のために高い税金を払っていると思うと納得できない。それならこれからお金のかかる幼い子どものために使ってほしい。世の中が大変な状況の中で、頑張っていて少ない給料から税金を払っているのに、自分からニートになった人に払うお金はありません。 (女性 20代)
- 毎日何でもいから、会話をすることが大事と思う。 (女性 20代)
- そもそも健全育成って何ですか。何をもちて健全育成と言うんですか。 (女性 20代)
- 中学生や高校生の非行がふえていると思う。前より指導も甘くなったし、保護者がしっかりと教育するべきと思う。 (女性 20代)
- ひきこもりやニートになってしまった原因は、家庭や本人の交友関係や日本の雇用・経済の問題など、多種多様とは思いますが、年代によって違う子育て・教育環境でも、その人の人格形成がある程度違うと思う。幼いころのほめられた体験や私・僕は愛されている、見守られているという安心感のもとで育っていくのは私の中での理想であり、基本としています。家庭内だけではなく外でも、そのような経験をふやせるように学校・地域活動・行事には自らも参加し、子どもには積極的に参加を促しています。住んでいる地域では、学校・家庭・地域の連携体制で、何事にも対策や対応が迅速です。何よりも地域の人々に支えられている安心感を親でも感じてしまうほどです。そして家庭・学校の指導者である親・先生の間接性のすばらしさが教育には必要と思います。求人は「高卒以上」という悲しい企業が多いので、もし中卒のひきこもりやニートは高認（高等学校卒業程度認定試験）をとってから、お金の余裕がある家庭なら通信の大学なり専門学校に通わせたりするのもよいかもしれません。そして高認も高卒とは認められないという会社も多数なので。仕事する上で必要なのは学歴ではなく、その人の才能を見極める能力・素質・経験だと思います。 (女性 20代)
- 青少年の問題に関しては、家庭環境が影響していることがほとんどだと感じる。共働きの世帯がふえる中、親が子どもに関心を持たない家庭も多くあり、放任状態となっている。もちろん、中には共働きでも子どもをしっかりと育てている親も多いが、学校・警察・関係機関に頼りすぎている親もいる。自分の子どもは自分が責任を持って育てるべきであるし、その補助的な役割を学校や地域が担うべきと考える。 (女性 20代)
- カルチャースクールが少ない（まちづくりセンターなどで行われているもの）。特に若者が興味を持ちそうなものが少ないので、集まりが悪くなってしまうのではないかと。時間帯なども昼が多く、青少年と言われる人々が参加できないと思う。 (女性 20代)
- ニート・ひきこもりと発達障害は別問題として考えたほうが良いと思った。一緒だと発達障害の支援のみ進んでしまいそうな気がする。働きたいけど仕事がない人、面談を受けても採用されない人への支援をもっとしてほしい。採用対策講座みたいなものはないと思う。企業側からもそういう支援を可能であればしてもらって、採用試験があるとさらに良いと思う。 (女性 20代)
- 通学中に広がって歩き、車の邪魔になっている小学生や、道路標識を無視して自転車に乗っている高校生などをよく見かけます。大人に成長していく段階で既にルールやマナーが守れない子がたくさんいます。学生時代の交通マナー教室はとても印象に残りますが、すぐに忘れてしまうこともあります。学生には、いじめ問題などについてもそうですが、相談所などの設置だけではなく、もっと学校・会社・地域で直接話し合いや教育的な説明を行うべきなのではないかと。また、社会人については、社会のルールやマナーを破っている人への補導の強化はできないものかと思います。特にこれからの学生には、もっとしっかり教育したり、話し合いをして理解を深めてほしいと思います。 (女性 20代)
- 学校でのいじめをなくしてほしい。先生の対応によっても将来が違ってくることをわかってほしい。 (女性 20代)

- 学校の健康診断にカウンセリングなど精神鑑定みたいなものがあれば、親が気づかない「いじめの第一歩」がわかって、親や先生が対応しやすくなるし、芽を摘むこともできる気がします。常に相談できる場が学校にあれば、なじめない子なりに通学できると思います。「学校に行かなきゃいけない」という概念がそもそも、「いじめられても学校へ行かない」となり、悪化することにもなるのではないのでしょうか。行かなくても勉強できる、社会に出て行けるという選択肢を与えられるようになれば、不登校の子たちが苦しまなくていいと思います。大人の定規で計ってはいけないと、私も子育てしながら反省します。(女性 30代)
- 薬物などに手を染めさせないようにする。ニートにならないように努力や責任感を持つ。(女性 30代)
- 結局は個人の判断や考え方であると思うので、親が管理できる年(中学・高校生)までは、ある程度は親の責任だと思います。その時期に正しい判断ができるよう育てていく必要があると思います。(女性 30代)
- 子どもともっと遊ぶ機会を家庭でふやせば、とてもよい子が育つと思います。市でもそういうきっかけとしてイベントや講座などをもっとふやしてくれると、子どもと出かけたり遊んだりする機会がふえて健全育成につながるのではと思います。(女性 30代)
- 大人に教育する力や子どもを大切にすゆとりがなく、大人の都合で健全な日常生活を送ることができない子どもが多いと感じる。家庭だけの問題でなく社会全体で支える仕組みをつくりたい。(女性 30代)
- 家族が子どもにとって一番影響がある存在なので、健全になるもならないも、まず、自分から健全であるべきと思います。(女性 30代)
- 健全育成ができるか否かは家庭環境が影響することが多いと思う。青少年に対しての支援は過去に比べ充実していて大変いいことであると思います。(女性 30代)
- 学校教育に問題があるなどと、いろいろ言われますが、やっぱり一番の(社会)教育は家庭と思っています。365日顔を合わせるのは先生ではなく社会でもなく親なのですから。親がどれだけ自分の子どもを守り、支え、褒め、叱ってあげられるか。でも仕事をしなければ子どもを育てられません。子どもと一緒に時間をつくれるよう、国はいろいろな支援や労働の時間を限ったり、この日本を担う子どものことを考え、親と子がもっと接することができるよう考えてほしいです。(女性 30代)
- 夜、中学生くらいの男子が近所の道路でたまっている、その状況を注意すれば、何をされるかわからないと思い、その子たちの横を通り過ぎていきます。自分が子どもころは、夜外に出るということをしなかったし、近所の人が見守ってくれている(悪いことをしたときは注意される)という記憶があります。現在、無差別殺人など恐ろしい事件がふえているので、非行青少年を注意するのも難しくなってきたと思います。その子たちの親はどう思っているのだろうと思います。いじめについて、いじめが原因の自殺も現在ふえていると思います。学校では、どの程度いじめを把握できていて、そのための対処などを考えてくれているのか不安にもなります。息子がいるのでこれからが心配です。(女性 30代)
- 小学生のころからさまざまな職業に触れ、高校受験のときにはすでに将来を見据えての学校を選ぶよう、幼いころから大人になるということを考えさせたい。専門的な知識を得られる学校をふやしてほしい。幼いころから、夜遅くに外に連れ出す親がいますが、それは禁止すべきと思う。学校において、先生1人につき担当する生徒はもっと少ないほうがよい。(女性 30代)

- 共働き世帯で、これから子どもが成長して行ったときに、両親共に子どもより遅く帰宅することが不安材料です。子どもが夕方まで安心して時間を過ごせる環境がいつまでも整っていると助かります。学童保育で、地域の大人と多く接して、素直な人間に育ってもらいたい。 (女性 30代)
- ドラマ「家族ゲーム」が参考になると思う。 (女性 30代)
- 昔に比べ豊かな時代に育った若者は自立が遅れている。その理由として社会に対する興味・知識不足が考えられる。幼いころから手で触れる、肌で感じる体験、高齢者との交流を通じて思いやりの精神を養い、社会の成り立ち（循環）や自身の責任、役割について教育することが重要であると考えるが、家庭で教育できる親が少ないため、学校で教育してほしい。（教えられる先生も少ないと思うので、教師の教育から必要であると考える）一番大事な道德の授業を復活・充実させるべきである。 (女性 30代)
- ひきこもりやニートは、精神が安定していない場合や、ほとんどが発達障害を抱えていて社会にうまく適応できない人なのではと思います。本人が知らないだけで、発達障害だった場合は病院でケアしてもらえば社会復帰は驚くほどたやすいことであると思います。不良の人たちも、そうなる前に精神面でケアできたらと思います。行政がもっと介入しやすければよかったと、悲惨なニュースを見るたびに思います。私の家には発達障害の子がいます。こども療育センター・フィランセ・幼稚園などに何度も相談に行きましたが相手にしてもらえず、子どもが異常な行動をしたり、子どもの腕が抜けたりしたときだけ「親が虐待をしたのか」という対応で、「何を言っても無駄」と思いました。学校にあがる年になれば薬が飲めるというのですぐ病院に行き、発達障害の診断をもらいました。薬さえ飲めば適応できる障害です。早い段階で見つけてあげてほしい。ボランティアなどで発達障害児を持つお母さんが1歳児や3歳児の検診に携われれば、すぐ見つけれられると思います。職員の教育をもっとしてほしいです。 (女性 30代)
- ボーイスカウトのジャンボリーのような、市の子どもが一斉に集まれるキャンプや集会など、とにかく狭い世界から脱する機会をたくさんつくってあげてほしい。自分の見ている世界が狭くて、世の中にはこんなものがある、世界はこんなに広いということを学ばせてあげてほしい。いじめている子も、いじめられている子も、自分がなんて小さなことで悩んでいるか、世界に出れば自分にもこんなことができる気づかせてあげるきっかけを与えてあげてほしい。 (女性 30代)
- 市内で働く外国人の青少年を支援してほしい。職場でのパワハラやいじめなど、日本の労働現場のつらい現実がさらに弱い立場の外国の青少年たちに及んでいます。ばかにされ、怒鳴られ、若い外国人の日本人観はとてもよくないと思います。外国人を多く雇用している職場に通達を出してほしいと心から願います。 (女性 30代)
- ひきこもりやニートがふえているのは、世の中がインターネット社会で、外にでなくても携帯電話やパソコンでつながりが持てるからなのか。しかし、一番は家庭での親子関係だと思います。それと、学校教育の考え方ではないでしょうか。親も幼いころから子どもとたくさん話し合い、相談できる関係にならないといけませんし、学校で学ぶことは本当に大切です。指導者は、本当に責任を持ち教育すべきです。昔と今では教育方法は違うのは当たり前です。その中で、やる気や社会のルールなどを教えていかなければならないと思います。親も、忙しい人が多いと思いますが、その中で親も育成について話し合えるイベントがあるとよいと思います。なかなか参加もできない場合もあるので、広報などで特集をすとか、とにかく目にとまる何かをしないと。小学校から中学校へあがると、子どもは変わります。大切な時期であることは間違いないので、その時期に何かあればと思います。よい子が悪いほうへいった原因も先生にありました。 (女性 30代)
- 家庭での環境やしつけなどで、子どもたちはどうにでも変わっていくと思う。親に対して子育てについて社会からのサポートシステムがあるといいと思う。今の親が人間としてちゃんとしていないことが子どもたちの健全育成を害していると思う。悪いことをする子どもを、他人の子であろうが叱れない今の親が悪い。 (女性 30代)

- 青少年の問題は、家庭環境によるものが大きいと思う。未熟な親が子育てをしている結果なのか。しかし問題が増加しているとは思わず、健全に育っている青少年もたくさんいるのは事実です。それらは人間が社会の中で生きている以上、つきない問題であり、時代によって問題の種類も変化しているので、その都度対処していく必要がある。ひきこもりやニートが生まれるのは幼少期の親の育て方に問題があると思っている。幼少期の子どもの言動を子どものせいにする親がふえているように思うが、子どもは親の鏡であることをもっと自覚してほしい。(女性 30代)
- 学校や家庭でしっかりと話をできるようにすることが一番大切なのは、便利な世の中になって、それをうまく使えない子どもに、どのように話すのか。メディアの必要以上の情報もあまりよくない。(女性 30代)
- 以前、パチンコ屋の前でワンボックスカーに頭を下げている若い男の子たちを見ました。そんなに遅くない時間でしたが、この子たちは将来どんな道に進みたいのかと思ったのを覚えています。まず家庭ありき、学校教育ありきだろうけれども、まさか地元で任侠映画みたいなものを見たことに驚きました。(女性 30代)
- 自分の子がこれから幼稚園に入り、最終的には社会に出て働くことを思うと、かなり不安です。ひきこもりやニートにならなかったとしても、一人で生きていくための力や強い心がなければ、問題に当たったときに負けてしまうからです。物や情報がどんどんふえている現代で、親が子どものことを理解するのが難しい上に、核家族・少子化・女性の社会進出により、ますます距離が遠くなっているように思います。どんな理由であれ、子どものことは親の責任とは思いつつも、やはり市やまち全体で見守ることが大切だと思います。地域行事などは、子ども（特に中学・高校生）にとってみれば敷居が高いので、もっと普段からどんなときでも立ち寄れる所があればいいと思っています。(女性 30代)
- 家庭内の問題からうつ病になり、医療機関に相談してもよくなり、ニートになり、理解できない親類が口を挟み、症状が悪化し、自殺した人がいました。ストレス相談の存在を知っていれば、死ぬことはなかったかもしれません。有能なカウンセラーに期待します。(女性 30代)
- もっと自由に相談できて、気軽に心のメンテナンスができる場があるといいと思います。学校でも、心の状態がチェックできるように、定期的なカウンセリング（一人一人の）をするのもいいと思います。異常のある子は、親とコミュニケーションをとってもらい、学校から病院や相談する場を提供するのがいいと思います。(女性 30代)
- 生きる力が弱くなっているからこそ、協力し合うことが必要であるが、今の青少年は助けてほしいと言うことすら、自分ではできない。自分の心を開けないと、助けてとSOSを出すことができない。心を開く練習を、もっと幼少期から働きかけることが必要なのではないかと思う。また、大人も心を開けない人が多く、うつ病患者はふえる一方である。助けてほしいと言える力を身につけてほしい。また周囲でも、困っている人がいたら助けを求められなくても、つぶされてしまう前に手を差し伸べられる人がふえてほしい。ゲートキーパーの充実をさらに推進し、身近な人への働きかけを、一人一人が行うようにしたい。(女性 30代)
- 親子関係・夫婦関係・家庭の問題が大きく左右すると思うので、学校教育に責任を押しつけるのではなく、まずは家族内の調整が必要と思う。(女性 30代)
- ニートやひきこもりになる人はただの甘えと思う。親が子どもに対してもっと突き放した行動をしたほうがいいと思う。住む家と食事があるから生きてくことに不安がないという現状がニートやひきこもりを生むと思う。食べるためには働かなければいけないということをたたき込んだほうがよいと思う。(女性 30代)
- 両親が共働きでも参加できる幅広い体制づくりが必要。スポーツイベント（マラソン大会など）にもっと参加させる。公園を明るく、見通しのよい空間にする。(女性 30代)

V 自由意見

- ニートやひきこもりを支援する必要はないと思う。青少年の健全育成を地域で頑張っても、あまり意味はないと思う。結局は、家庭内によるところが大きいと思う。 (女性 30代)
- 大人が正しい行動をする。 (女性 30代)
- 周囲のサポートも必要ですが、やはり家庭に起因するかと思います。たとえ片親のみでも頑張って子育てに励んでもらいたいです。 (女性 30代)
- ひきこもり・不登校・ニートが身内にいると、家族は他人にあまり話をしません。両親が仕事をしていたら、日中(平日)行政に相談するタイミングがなくなり、ひきこもり日数がどんどんふえれば、外に出る時間、タイミングがどんどん遅れるので、早期に発見し、すぐ解決策を立てることが大切だと思います。青少年に関することで、虐待やいじめなどいろいろな問題がありますが、親にどなられ、たたかれて育った子どもは、自分が大人になって、自分の子どもには手を上げないと思っても、自分がされた育て方しか知らないの、同じことを永遠に繰り返します。また両親が離婚している子どもは結婚しても離婚することが多いです。離婚が問題ではなく、片親で育てられ、別れた親の悪口ばかり聞かされて育った子と、褒められ認めてもらいながら育った子では、大人になるとすごく違います。もう少し子育てや教育に対して知識を与える場所のほか、情報発信など、若い人にわかりやすいようにしてみてもいいですか。 (女性 30代)
- もう少し親がしっかりしないといけないと思う。家庭でのしつけをもう少しきちんとするように親から指導すべきなのではないでしょうか。子どもは親や大人を見ています。その大人が秩序ある行動・言動・生活態度を手本として見せなければいけない。まずは子どもよりも大人、親が変わる取り組みをしないといけないと思う。 (女性 30代)
- 今の子どもたちでもまっすぐ育っている子は多いが、そうでない子は教育の面で何か足りないと思います。それは勉強だけではなく、一番大切なのは共同で何かをやるということ。その中で学ぶものや得るものは多いが、その機会が少ないと思います。ですからそういうことを学べる場所をつくるのが大切だと思います。 (女性 30代)
- 5年前、母としてひきこもりの件で悩んだことがありました。特に私の子は寂しがりで、当時私も多忙なため子どもの相手ができなかった結果、ひきこもりになったのではとも思いましたが、学校でもいじめや仲間はずれが多く、結果、私の子は犯人扱いされ、クラスのみんながそう思うようになり、本人は人を信じることができなくなりました。私もとてもつらかったです。大事な学校生活もあやふやに終わりましたが、5年たった今、本人も少しずつ立ち直り、笑えるようになりました。当時はいろいろな方法で相談しましたが、やはり親子の絆は強いと思いました。 (女性 30代)
- 青少年の時期でしか体験できないことを学び体験できる機会をふやす。地域の行事など積極的に参加する。さまざまな行事でかかわる人々の大切さを知る。親子や家族で過ごす時間を大事にする。 (女性 30代)
- 社会に出てもみんなと生活していける自立した青少年になれるよう育成していきたい。そして高齢者や弱い人たちに優しく接していけるような大人になってもらいたい。あきらめない心、夢をしっかり持ってください。 (女性 30代)
- 2歳の娘の母ですが、家庭内のしつけは非常に大事と感じる。挨拶する、自分の物は自分で片づける、ありがとうが言える。2歳でもできることができない青年が多い気がする。譲り合う心は都市のほうが意識も高く、電車内の携帯電話などは、ほとんどの人がマナーを守っている。車の運転も自己中心的な人が多いと思う。もっと他人を思いやり、自分に責任を持てる青少年がふえたらいいと思う。 (女性 30代)

- ニートやひきこもりの親に問題があるとはあまり思いませんが、それぞれ自分の子どもをよく見ていかないといけないと思います。理由やきっかけがあるのではないかと。そのきっかけが、人間関係のトラブルであることも多いと思います。いじめなどの場合は、いじめている側の親に問題があり、一方的に被害を受けることが多くあります。学校はあまり見てくれません。心の病気の場合もあるので、本人に合った支援が必要だと思います。(女性 30代)
- 昔は、近所の人など親以外の人に怒られることは当たり前でした。でも今は近所づきあいも希薄になって、家庭の問題はその家庭だけで解決しようとしています。ひきこもりになったり、非行に走ったりするのは、「誰も自分のことを見てくれない」と思うことから始まるように思います。ですから、幼いころからたくさんの方が気にかけてくれることはすごく重要だと思います。地域の方が周りを気にかけてくれる、そんな社会にまた戻ったらいいと思います。(女性 30代)
- 親や周りの愛情・しつけ・サポートはとても大事だと思います。(女性 30代)
- 母親が、携帯画面から目を離さず、駆け寄ってきた子どもと会話をしている姿に怖さを感じます。私は自分を見てもらえなくて、寂しい思いをして思春期に荒れました。心が通わない親子関係は昔よりもどんどんふえていると思う。大きくなってから親らしく言われても誰も何も聞かないと思う。子どものころからきちんと向き合っ、話し合っ、一緒に泣いて育つから、心がしっかりと育つと思う。私は2人子どもを産みましたが、うまく感情のコントロールができず、私の父のようにひどい怒り方をしてしまい、後悔し、泣きました。上の子は、そんな私の頭を抱きしめて、「大丈夫、大丈夫」となぐさめてくれました。こういうことを普通は母親がするものだとそのときに気づかされました。結局、私のようにしたくない気持ちが大きくなりすぎて、子育てができなくなってしまいました。こういう人がふえていると思います。両親に愛してほしい。35歳の今もそう思います。苦しいです。大人の、アダルトチルドレンの心をケアする場所が必要と感じています。(女性 30代)
- 学校での指導も大事と思うが、家族とのかかわりや親が子どもに対する接し方のほうが大事と思う。子どもの教育やしつけに関する説明会(講座)のようなものがあったら行ってみたい。親もいろいろな考え方を身につけるべき。(女性 30代)
- 親がちゃんと挨拶しないなど、手本となるはずの人たちのマナーの悪さがすごく目につきます。挨拶をしない、道に広がって歩く、大声で話しながら歩くなど、少し考えれば迷惑とわかるようなことを平気でしている大人が多く、まったく手本になっていない。(女性 30代)
- 自分の子どもがひきこもりやニートにならない限り、余り関係のないことであると思ってしまう。犯罪などに巻き込まれたり、加害者にならないように有害なものや環境を排除してほしいと思う。(女性 30代)
- ニートやひきこもりは家族や本人だけでは難しいので、専門家の介入が必要だと思います。子どもに努力すれば望む職業に就けるなどと教えるよりも、人の役に立てるような人になりなさいと教育したほうが、やりたいことがわからないということにならないと思います。(女性 30代)
- 家庭の中でのふれあい・しつけ・会話を大切に、地域での活動や周囲の人々の支えや協力など、全体で育成していけたらよいと思います。(女性 30代)
- 私の子ども(長女)は小学2年生ですが、友達との遊び方や話す内容は、自分が小学生のころとは違います。学校の先生の影響も大きいですが、やはり親が子どもをどう導くかであると思う。地域行事の参加や家庭内での話し合い。子どもが大きくなってからどうこうでなく、幼いうちに親がどう動くかであると思う。(女性 30代)

V 自由意見

- ニートやひきこもりは、家族の中にいました。本人がやる気を出し、どうにかになりましたが、ニートであったとき、周りがあまり騒ぎ立てても本人が思いつめそうで、どうしていいかわかりませんでした。ニートやひきこもりについて相談に乗ってくれるようなところがあるのなら、本人よりも周りの家族にもっと広く伝えてほしかったです。(女性 30代)
- スポーツは心も育つし、体も育つので、すごくいいと思う。部活動以外に地域サークルや大会など、スポーツに関することに少し力を入れたらどうでしょうか。スポーツを通じて、いろいろな人と知り合い、仲良くなれたら、その地域の絆が大人も子どもも強まって、みんないい感じになれそう。そうしたら、青少年たちが伸び伸びできそうだし、いろいろな人に悩みも相談できて、ひきこもらないと思う。(女性 30代)
- 私は人とかかわりを持つことが苦手です。子どもには私を反面教師にして育ててほしいです。広報などを見て、子どもが参加できる教室などには積極的に申し込んで出かけています。子どもが一人っ子なのでとても助かります。(女性 40代)
- 新しくできる相談所の周りの環境をよくしてほしい。(女性 40代)
- 大人はもっと地域の子どもたちに声をかけて、少しだけおせっかいをやく。そして頑張っている子どもは褒めてやる。叱られても、時々褒めてもらえると、その人の言うことは聞くし、相談を持ちかけることもあるでしょう。家庭は核家族がふえていて、シングルマザー・ファーザーも多く、親だけで子育ては無理。また、独身が多い。みんな結婚しないと介護などの面でこれから困ります。婚活も進めてほしい。(女性 40代)
- ひきこもりがいる家庭を知っていますが、どうしてよいのかわからず、何年も何もせず、ただ子どもを放置しているように思います。どこに相談しても相手にしてもらえないようになり、困っているようでした。相談できる場所や内容をしっかりとアピールしてほしいと思います。(女性 40代)
- 現代の青少年は、挫折を経験することなく成人してしまうケースが多く、一生懸命に就職活動をしてやっと入社した会社で上司に少々厳しく叱られたくらいで入社拒否になったり退職したりしてしまう。私ごとだが、高校2年生の娘と同じクラスのある女生徒は、中学3年生でも同じクラスだったので、その子が今の高校にとても行きたがっていたことを私も娘から聞いて知っていた。希望に満ちた入学だったと思うが、今、この時期に退学するという。何の目標もなく「とりあえず高校へ」「とりあえず大学へ」「とりあえず就職」と自分の意志で進路を決めていないから、就学先や就職先でいざ何かあったときに折れてしまうと思う。耐える力をもっと身につけてほしい。(女性 40代)
- 格差社会になり大人たちの心に余裕がなくなり、自分さえよければお金がすべて、悪びれることなくうそをつく。こんな大人を見てるから子どもたちが悪影響を受けると思います。(女性 40代)
- 子どもが挨拶ができないのは親がしないから。まずは親が振り返り、子どもの手本となる行動を取るようにしたらどうか。(青少年だけではなく全ての市民)(女性 40代)
- 家庭教育はもちろんですが、学校教育も問題があるといつも感じています。(公立の中学校・高校)学校行事でかかわるたびに思いました。いつも先生がボードとペンを持って生徒の周りを歩いています。問題行動のある生徒をチェックしていることを知りました。子どもの気持ちを知ろうともせず、子どもの表面の評価だけをする先生がとても多いのに驚きます。頭ごなしに注意し、「なぜ」とは問わない。子どもは「言っても無駄」という気持ちになるのは当然だと思います。そのまま誰も救いの手を出さず成人すれば、やる気のない大人になると思います。「勉強さえできていれば」「表面だけよければ」この評価を何とかしたほうがいいと思います。(女性 40代)

- 青少年の健全育成といっても簡単なことではありません。でもまずは私たち大人が、「あのような大人になりたい」と思われるような、青少年に夢や希望を与えられるような生き方をしたい。行政でやることは大きなことであると思います。でも隔々まではいきわたらないというか目が届かない。市民全体を巻き込んで何かをやっていかないといけない。個人レベルでできることは本当に小さなことです。それもまた重要なことであると思っています。いろいろな人とかかわっていく中で、今、本当にひきこもり・不登校・うつがとて多いことにびっくりします。ただ何となく原因も母親との関係とわかってきました。心の問題になってきますが、それは青少年の健全育成と大きなかわりがあると思います。困難を抱えた青少年の親の多くは、自分自身に問題があることに気がついていないように思います。このような細かいことに行政が手を差し出してもらえるともっと早く、もっと多くの人楽になれるのではと思います。(女性 40代)
- 少人数の小学校から中学校へ入学すると、おおよそいじめなどがあり、不登校になってしまうという事実を身の回りで何人も見てきました。スクールバスなどを出し、同じ小学校で最初から大人数の中で学ばせてあげてほしいと思います。昔と違い、今の子どもは残酷です。限度がありません。小学校を減らしスクールバスを出すほうがお金がかからないと思います。(女性 40代)
- まじめな青少年時代を過ごした人よりも、青少年のときに多少悪さをしたとしても、大人になって更生した人のほうが、思いやりを持っている人は多いと思う。いろいろなことを経験した人のほうが強さがあると思う。思いやりのある大人がたくさんいる社会がいい。(女性 40代)
- まず親のモラルがしっかりとしていないことには、市がいくら青少年対象に何かをしても、無理。小学校の授業参観などに行くと驚くことばかり。「車で来てはいけない、近隣に停めてはいけない」はずなのに、守らない大人ばかり。悲しいです。(女性 40代)
- 難しくてもわかりませんが、年齢や性別にかかわらず言えることは、しっかり挨拶ができ、人の話に素直に耳を傾けることができれば、そこから自分の中で考えが自然と浮かんできて、たとえ小さなこと、他愛もないことだったとしても、その一つから次に繋がっていき、会話がふえ、コミュニケーションがふえていくような気がします。何をもち「健全」というのかわかりませんが、ニート・不登校・ひきこもりは「個」の問題、一人きりでかかえた状態での問題です。友達がいないのは寂しいと思う人が多いと聞いています。せめて家族が味方してくれるから大丈夫といえる関係が築けていたら違うのではないのでしょうか。(女性 40代)
- 何でも話せる家族、よい両親に恵まれていることが一番大事です。ある程度成長するまで、子どもから目を離さないことです。(女性 40代)
- 「青少年の船」がなくなってしまったと聞きました。復活を求める署名活動で署名をしましたが、できるだけこのような青少年育成のための活動を継続、または新設してほしいと願っています。(女性 40代)
- 私たち大人が持つ歪んだものさしで青少年をはかることが問題である。私たちが変わらなくてはならない。(女性 40代)
- 幼児のころからのしつけ、教育が重要と思います。(女性 40代)
- 私には子どもがいないが、周りの話を聞くと最近の子どもは大変と思う。目に見える関係とインターネットを通しての目に見えない関係、気を使うことがたくさんあって疲れてしまうのではないのでしょうか。また、今の子どもは精神的に弱いのではとも思う。子どもが生活しやすい世の中になるといいと思います。(女性 40代)

V 自由意見

- まずは教育からきっちり始めるべき。知的に低いと視野も狭くなりやすいです。習いごとでも、一回の参加でもでき得る体験はしたほうがいいと思います。必ず何か心に残ります。子どもの反抗期を受け入れる大人の教育も必要と思います。とにかく意識が低く、努力が足りない現状に腹が立ちます。ホームレス問題や、交通ルールを守らないことに関しても検討してほしい。
(女性 40代)
- 親世代が自分本位な生活をして、子どもの生活を自分に合わせていると思われる場面を多く見かけます。親の子どもへの対応から考え直していかなければならないと思います。
(女性 40代)
- 高校有料化は、かなり家庭に負担がかかっています。子どもを大学へ行かせたいですが、家の事情を考えると余裕がないです。私は中国出身ですが、中国ではほとんどの家庭が子どもを大学へ行かせます。日本では子育てするには経済的に大変です。子どもがかわいそうです。
(女性 40代)
- 地域のつき合いの中でのかかわりが必要と思う。高齢化社会の中で、地域性が薄れていってしまっているのは、子どものころからのかかわりが少なくなってきたことが原因の一つであると思う。地域での行事や役割が簡素化していく傾向があるが、これも一つの原因と思う。各年代層が一つになってかかわれるよう、地域での取り組みを何か考えていくことで、青少年の健全育成につながっていくと思う。地域防災が1つのきっかけになっていくとよいのでは。
(女性 40代)
- 小・中学校で行っている古紙回収一つとっても、昔は親と一緒に子どもが参加して、一軒一軒まわって交流があったが、今は集積場所に出して親が車で回収しています。もっと子どもたちも地域との交流をしたほうがいいと思います。
(女性 40代)
- 親子間で話し合う（意見を言い合う）機会を常に設けるようにするのがまず一つ。学校教育で、道徳の授業がない、または少ないらしいが、ぜひじっくりと取り組んでほしいと思うのが一つ。世の中の事件や騒がれている問題などについても、皆で意見を言い合うのは、他人の意見を聞くというだけでもよいと思う。
(女性 40代)
- いじめやひきこもりなど、根本的な問題は家庭にあると思うのですが、現代においては家庭だけでは手に負えないことが多々あるように思います。家庭・学校や地域の協力なくして青少年の健全育成はできないと思います。
(女性 40代)
- 何事もまず家庭から、学校や地域へ頼る前に基本的なことは家庭で教えていかなければならないと思います。親の言うことを聞かない子どもが、先生や地域の他人の言うことを聞くわけがない。
(女性 40代)
- 子どものことをとやかく言う前に、周りの大人が子どもの見本になっているのか。
(女性 40代)
- 自分たちが育った環境を見ても、人とのかかわりがなければ違う方向（誤った方向）を選んでしまったかもしれません。大人がどれだけの「思いやり」を持って子どもたちと接するかで変わってくると思います。コミュニケーション力を高める手法を大人たちが（見本となって）学び、その姿を見せていくことも必要と思います。若者たちと一緒に目線に立って考えること、意見をよく聞き、的確なアドバイスをすることなど地道な努力が必要なかもしれません。
(女性 40代)
- 家庭や学校でもっと幼いころから子どもが「叱られる」ことに慣れるように、悪いことをしたらしっかり親や先生に「叱られる」ことを体験することが大切ですが、親も先生も「叱る」ポイントがずれている人が多い（自分を含め）ように思う。自分の立場を考えての叱り方をする先生が多くなっていると思う。悪いことをしたら、なぜ悪いのか、そのことで誰が迷惑するのか悲しむのかなどを教えることは大切ですが、少しでも親・先生・学校などの立場を考えたことも言うので、子どもは「やっぱり自分の立ち場を守ることしか考えていない」と思ってしまうので、親も先生ももっと考えて「しかる」ことをしなくてはいけないと思います。
(女性 40代)

- 真面目に働くが報われない大人に育てられれば、子どもは働くことに意味を持たなくなるのは当たり前前と思う。大変だけど充実している大人に育てられれば、子どもは大変な中にも幸せをみつけられると思う。(女性 40代)
- 子どもの送り迎えなどで、富士駅北口を利用しますが、飲み屋や風俗店が多いことがとても気になります。近くに高校もあるので、飲み屋の女性の前を高校生が歩いているというのはよくないと思います。富士駅周辺をもっと改善してもらいたいです。(女性 40代)
- 私たちが学校に通っていたころは、厳しい中にも愛のある先生がたくさんいたように思います。正直、げんこつされても愛は感じたけれど、今の学校は保護者の顔色を伺う先生が多くなり、情熱を持った先生が少なくなったように思います。保護者の過剰反応などにより、理想を持った先生もつぶされてしまっているのではないかと。もう一度、保護者のあり方、教師のあり方について社会全体で考え直すことが、青少年の健全育成の第一歩となるのではないのでしょうか。(女性 40代)
- 知人にひきこもりの青年がいます。本人も家族も苦しんでいると思います。どうにかして助け出してあげたいが、私には何もできず、祈りだけです。ひきこもりもニートも、結局は家庭のしつけ・教育・子育てに問題があると思います。(女性 40代)
- 地域社会と青少年の関係が希薄になっている気がする。身近な社会とかかわりを持つことで社会のマナーや人に対しても思いやりや協調性も身につけられると思う。また世代の違う人との交流なども学ぶことが多くてよいと思う。他人とお互いの意見を言い合えるような多種多様な人とのふれあいの機会をもてるとよいと思います。(女性 40代)
- 親として心から優しい気持ちで子どもに接すること、これがどんなに根気が必要なことであるか、理解しています。幼い子への虐待については、もっと広報などで連絡先を何度も知らせてほしい。今の時代、きっとお母さんたちが忙しいのです。そしてなぜか、隣近所すぎると、連絡するのもはばかれるのでしょうか。またひきこもりやニートなどは、実際に親は気持ちを共有できないのですから、話を聞くだけ聞いて専門家に任せるのが、一番の近道だと思います。ここ数年、障害者の雇用が促進されてきましたので、少し外出可能になった人には、ほんの数時間かつ接客以外のアルバイトを紹介するのもいいと思う。(女性 40代)
- ニートやひきこもりは、本人だけでなく家族にとっても大きな問題であると思います。両者に支援が必要だと思います。(女性 40代)
- 子どもに問題が起こることは、親や家庭環境が解決のカギだと思います。(女性 40代)
- 家庭内でのしつけをしっかりと。(女性 40代)
- 子どもや家族に何か問題が起きたときに、親や周りの人は対応に困り、さらに問題が広がったり、誰にも言えず何もできなかつたりして悩んでしまうと思います。ですので、本人はもちろん周りの人間が気軽に相談したり、対応の仕方を教えてもらえたりする団体や公的機関をわかりやすく、充実したものにしてほしいです。現状は、市民にはわかりにくく感じ、自分がその立場に立ったら困るだけで何もできなさそうです。広報などで何かあったときはこういう機関や団体に相談すればよいと載せたり、市民向けの講座で対応の仕方を教えたりするなどしてほしいです。早くニート・ひきこもり・不登校や・いじめなどの問題が解決できるよう、周りの人にアドバイスをしてほしい。(女性 40代)

V 自由意見

- 子どもが減っている中で、青少年を育成したり、活動したりする場がなくなっていると思います。祭りなどで息子たちは地域の人と接していますが、毎年、年に1回ですが温かく迎えてもらっています。年齢の上、下の人とのふれあいはとても大切なことであると思いますし、家庭では見られない彼らの姿も見えます。高齢者などもふれあい、彼らの尊敬する部分もあります。やはり多くの青少年が孤立化しないようにインターネット（フェイスブック・ツイッターなど）での声ではなく、実際に出会う場面が必要な気がします。（女性 40代）
- 青少年の健全育成といっても、すべては家庭内での環境が心身に大きく影響すると思っています。誰でも生まれたときは善も悪もありません。育っていく過程の中でその子どもの人格ができていくものだと思います。愛情をたくさん受けて育った子どもは他人にも優しくできるでしょうし、親が子どもに何か問題が生じたとき、学校や社会のせいにするのではなく、両親が一生懸命生きていく姿を見せれば、子どももおのずと強く生きていく力を身につけるのではないのでしょうか。私は子どもにそのような姿を見せてきたと自負しています。（女性 40代）
- 多方面での教育が、心身ともにかたよらない人間性を育てるために大切だと思います。いろいろなことにチャレンジするチャンスを与えることも大切と思っています。（女性 40代）
- 子育て中の親の世代のモラルが低下していると思う。市民や地域住民としての役割を果たさないにもかかわらず、自分の子には「きちんとしなさい」というのは無理と思う。子は親の姿を見て育つ。周りの大人が、自己中心的にふるまっていれば子どももそうになってしまう。子育てしている大人が人としての道徳心、強さを改めて考える機会が必要だと思います。また、クレームの多い保護者のせいで教員も叱ることすら遠慮しないとまらない状態なので、子どもはどんどん打たれ弱くなり、悪いことをした子は少し注意される程度で、ますます悪いことをしてしまうと思います。学校での社会性教育の役割が昔より小さくなっていると感じます。やはり家庭で何とかするしかないと思います。（女性 40代）
- 近所や地域とのつながりを大切に、危ないことや悪いことをしていたら注意のできる環境はよいと思う。（女性 40代）
- 身近な人たちの声かけや、非行の取り締まりなどの強化が必要だと思います。（女性 40代）
- 学校教育が甘い。悪さをしたら殴ることも必要。子どもを見ていると先生たちをばかにしているところがあります。私は先生といえば怖い存在でした。ときにはどなる・たたく・廊下へ立たせる。そんな教育も必要ではないのでしょうか。今は先生が子どもに気を使うため、自立できない子どもがふえているのでは。家庭の中でも、子どもが王様的な存在の家庭が多いと思います。（女性 40代）
- モンスターペアレンツなど、家庭で健全な青少年を育成するのは無理な世の中なので、学校の授業の中に組み入れていくといいと思います。（女性 40代）
- 私は独身で子どもがいないが、小・中学生の親と同世代として感じるのは、親のしつけがなっていないこと。親自体のマナーが悪く、口のきき方も軽く、常識もなくせに、偉そうな口をきいて、学校に文句を言ったりしていることに腹が立ちます。小さな子どもを夜遅くに親が連れて歩いているのも気になります。インターネットやテレビで子どもの情報源は無限にあり、危険にさらされています。親の知らないことを子どもが知っていることもあると思います。子どものような大人が子どもを産み育てている。家族や子どものためではなく自分が最優先な親もいる。そんな世の中で子どもが健全に育つのは難しくなっていると感じます。（女性 40代）

- 親の子育てが昔と違い甘すぎる。悪いのはすべて人のせいにする親が多すぎると思う。我が子がかわいいのはわかるが、きっちり責任を持って世の中に出られるようしつけをするのは、一番は家庭にあると思う。学校や行政も所詮他人ごと。今の子どもが何を考え、何を思い行動しているのかしっかりと親が見るべきと思う。私は親(母)の愛情を感じたことがないからよくわかる。非行に走るの、家族が楽しくないから。親は自分で産んだ責任がある。今の親子関係は最悪。
(女性 40代)
- 青少年活動団体にもっと加入していくように支援すべき。そのときだけの地域行事では、一人一人を育成することはなかなか難しいと思う。今、町内にいる子ども会の役員が、一人一人の子どものことを考えて行動しているとは思えません。学校教育ではないが、細く長く、子ども一人一人を見守っていただける団体に対して支援すべきと思います。
(女性 40代)
- 個々の問題を解決するため、保護者や本人が相談窓口へたびたび行くことがあるが、一度相談を受けたら2回目以降は本人の自宅などに訪問するなどして、距離を縮めたほうがよい。
(女性 40代)
- 現に、知人宅でいろいろな問題を抱えている家庭がいくつかあります。ともに悩んでいますが、なかなか解決策が見つかりません。とても難しい問題と思います。
(女性 40代)
- 親として責任を持つことが大事だと思います。自分が育てたのだから。
(女性 40代)
- ニートやひきこもりなどは孤立しがちな子どもが陥りやすいと思うので、特に身近な親が完全にそうになってしまう前に注意してあげるべきである。共働き家庭が多いようですから大変かもしれませんが、やはり子どものことは「親の責任」と思います。親にそういった意識を持たせることが重要だと思います。
(女性 40代)
- 親の過保護が子どもをだめにしていると思います。学校やいろいろな場所に親が出すぎな気がします。何かあればすぐ親がしゃしゃり出て、先生の立場がなくなるのも当たり前な気がします。親や先生の悪口を平気で子どもの前で言っているのを聞いたことがあります。あれでは子どもは先生を尊敬するはずがないと思います。
(女性 40代)
- 親子が何でも話し合える関係は好ましいと思いますが、友達化している状態は好ましくないと思います。やはりある程度、親としての威厳性の保たれた親子関係が大切だと思います。(女性 50代)
- 一人一人が善悪を見極めることができ、人に対する思いやり・喜び・苦しみ・悲しみのわかる人間形成であるならば、いじめやひきこもりなども多少ながらも減るのではないのでしょうか。大人になり、親になると、大切にしなければならないものはいっぱいあります。「三つ子の魂百まで」といいますが、その言葉の重要さをしっかり考えなければいけません。お金がなくても愛情はたっぷりかけられます。子どもにとって産んでくれた親が一番よいわけですから、親は子どもをいっぱい愛してください。愛されて育てられた子どもは、思いやりや人間形成の中で一番大切なことを学んでくれると思います。
(女性 50代)
- ニートやひきこもりがいる家族、特に両親にとってはとても深刻ではないかと思います。市ではいろいろな取り組みをしていることがわかりました。このような家族に手厚い支援をしてほしいと思います。私の小学4年生になる孫が通っていた幼稚園では、施設の子どもが通っています。運動会の時、走り終えた一人の施設の子どもが、ほめてもらいたかったのか付き添いで来て見ていた若い3人のお姉さんのところに来ようとしていたら、そのうちの一人が「無視だよ」と他の人に言い、3人とも知らん顔をしていました。家族に恵まれないうのに施設でもこうなのかと思い、どこか連絡できないのかと考えましたが、またそこでその子どもに対してしっぺ返しが行われたらいけないと思い、何もませんでした。そういうときの対応方法や市で行っている支援の一覧表が家庭にあったらいいと思います。
(女性 50代)

V 自由意見

- 昔と違い、個人を大切にせる世の中になっている。地域の中の強制された行事に参加しなくなっている 20~40 代。家にもインターネット、パソコンなどで社会と繋がってしまう。目の前にいなくても言葉を交わしてしまう世の中で、信じること、愛すること、自分に自信を持って行動すること、生きることはとても難しいと思います。だから家にいるとき、目の前にいて接することができる時間を何歳になっても大事にしたい。心が育つことが一番大事で難しいが、みんなで努力しなければいけないと思う。 (女性 50代)
- 女性の社会進出が進められることはよいことですが、子育てをしっかりとできない人が多くいるように思う。いわゆる主婦業を子どもが必要とする間はしてもいいのではないか。友達親子が多いのが気になる。しつけは必要。 (女性 50代)
- 子どもが生まれたときから、親子に対して精神的なサポートをしてほしい。大家族でできたすばらしい環境が今はありません。 (女性 50代)
- 青少年にはまず自分の目標を持ち、言動に責任があり、他人と協調性を持ち、人から好かれる人になってもらいたいです。また、挨拶のできる明るい人になってほしいです。 (女性 50代)
- まず親が社会のルールやマナーを守っていくことが大事だと思います。それを見て子どもが育つ。あと子どもに過度に自分の理想を押しつけないことも大事だと思います。 (女性 50代)
- 親や近所が無関心。何かあると文句だけ言ってくる。まずは家庭からと思う。いろいろなものが充実しても満たされないと思う。 (女性 50代)
- 人の嫌がること、自分がされたら嫌と思うことをしないこと。人のことを思いやる優しい心を育て、ぎすぎすした人間にはならないでほしいと思います。いらいらしたり、すぐにきれたりする子どもは将来不安になります。もっと余裕を持てる社会になってほしいと思います。 (女性 50代)
- 親子関係が大切だと思います。愛情を注いだ子どもには親の思いは伝わると思います。何があっても親は子育てを放棄してはいけません。 (女性 50代)
- 健全育成の基本は幼児期からの家庭教育にあると思います。昔はそうして成長した子どもがいろいろな体験を学習することにより、自分の力として身につけていったように思いますが、現在はあふれる情報やバーチャルな感覚で実体験のないまま友達や社会と向き合っていると考えます。そのような中では自分の思いをどのように伝えていいのかわからず、つまずいたり他人との交流がうまくできなかつたりすることが原因で、ひきこもりやニートになってしまうのが一番多いのではないのでしょうか。友人関係はIT機器の拡張により直接かかわることが少なくなってきて、生身の人間対人間の関係が煩わしく面倒に思える若者がふえていると聞きました。人は一人では生きられないし、人によって生かされていると気づくことが成長期の子どもに必要だと思います。 (女性 50代)
- 家庭や地域(近所の人々)で見守ることは大切なことです。しかし一番大切なことは本人の気持ちです。ニートやひきこもりから通院するまでの病気になることは多い。そこまで行く前に相談するところがあればかなり違う。相談できる場所がすぐわかるようになっていたら気持ちが楽になる人が多いと思う。ひどくなる前に何が原因なのか、学校・親・兄弟がいっぱい話をしていけばよい。親が勉強会に出て努力したり、子どもの気持ちを理解しようとしたりすることが大切で、そういう勉強会の場を多くつくり広めて行くことが必要と思う。苦しんでいる親が多い。親の相談所が多くあり、話を聞いてほしいという人が多いです。(現実、ニートや病気になり目が離せない人は周りにたくさんいます) (女性 50代)

- 幼少期から思いやり教育を始め、成長過程では社会的・反社会的教育をし、家庭では一人一人の特性を理解し合い、特性が悪性にならないように、家族で過ごす時間や会話をふやし、興味のあることへの才能を伸ばすように手助けをする。周囲にはささいなことでも、本人には特別なことと捉えて気持ちや行動を尊重し、間違いを否定せず、認めながら修正していく環境を心がける。罪を犯すことが、その後の人生にどう影響するのかをよく理解させるために、社会に戻ってからがどれほど大切なことか思い知らせない限り、犯罪は減らないでしょう。謝罪すれば終わり、罪を償えば終わり、未成年だから大した罪にならないなど、そんな簡単なことではなく、犯罪をあきらめる覚悟を持ち続けることを教え込まなければならない。
(女性 50代)
- 時代が違ふと言われればそれまでですが、今の若い人たちの言動にはがっかりしてしまうときが多々あります。でも、中にはとても真面目でしっかりとしている人も数多くいます。そんな人を見るとほっとします。人間には生まれつき悪い人は絶対にいないと思います。どこかで歯車が狂ってしまったと思います。大切な若い人たちを地域で見守るべきと思います。生まれてきたことを幸せに思い、周りの人に対して思いやりの気持ちを持てる大人に成長させたいと願っています。
(女性 50代)
- まずは子どもが育つ一番のもとになる家庭が、しっかりと子どもの成長を見守ることが大事と思う。子どもはそこではじめの自己肯定感を持ち、そして次に学校という社会に入っていく。根っこがしっかりしていないと不安定になると思う。
(女性 50代)
- 青少年を健全育成するのは家庭が基本と思います。家族関係や取り巻く家庭環境が変化し、子どもが子どもを育てているような面もある。全体に家族はどうあるべきか、子どもはどうしつけるべきか、学ぶ場は家庭ではあるが、それが環境的に難しい場合、学校で教える場があってもよい。しかし家庭科などの教科は時間的に削られ、全員が学ぶ機会が少なくなっているように思う。(延べ約20年高校で講師をやっていたので) お腹に赤ちゃんが宿ったら、身体的な育て方だけでなく心やしつけなどの育て方も学ぶべきと思う。相手の立場で考え、行動し、自分が嫌と思うことは相手も同じであると思う。幼いころから教えていきたいことです。私自身、子どもには生まれたときから「ありがとう」と「ごめんなさい」は素直に言える人間にと思い育ててきました。
(女性 50代)
- 他人ごとと考えずに、もっと身近な問題として親の立場で考えれば、他人の青少年でも力になれることがあるので、もっと人々の声に耳を傾ければいいと思っています。
(女性 50代)
- 今の子どもは自分を大事にしない。だから他人も大事にできないのではないのでしょうか。
(女性 50代)
- ひきこもりにしろニートにしろ、人生における一番輝かしい時期にいろいろな体験をする機会を失ってしまうのはとても残念なことです。解決に至る道はわかりませんが、後で後悔することがないような時の過ごし方を、周りの大人や社会と一緒に考えるようになればよいと思います。
(女性 50代)
- 家庭のしつけ・教育・ふれあいの問題と思うので他人任せにしない。自分の子は自分で責任を持って育てる。子どもの行動に注意する。ほったらかしにしない。子どもとの会話をよくする。すべて親の責任と思います。子どもが成人するまでは親が責任を持って育てる、行政に頼りすぎないほうがよいと思います。また、地域とのふれあいも必要です。近所の子どもを他人と思わないで、声かけをして行くことも大事です。何かイベントがあるときだけ声をかけて普段は知らん顔ではいけないと思います。変なおばさんと思われても、朝と晩の声かけを常に心がけています。
(女性 50代)
- 大人、特に親の存在は大きいと思う。青少年がなぜそうなったかの根本も考えるべきと思う。自分も含め、信頼される大人、親になれるよう努力が必要ではないのでしょうか。
(女性 50代)

V 自由意見

- 声が小さい、挨拶ができない。「マジーうけるー」「っていうかー」などの言葉を平気で目上の人に話す子もいる。子どもを叱らない親が多すぎる。自主性を重んじるというが、子育てに悩む親が多い。悩む人はまだまだが、平気で子どもを自由にしている親もいる。まず家庭です。家庭の教育が大切と思う。(女性 50代)
- 人とコミュニケーションのとれない人間が多いように思えます。他人と接する場や、いろいろな体験活動などの支援を推進してほしいと思う。(女性 50代)
- 現在少子化で核家族が多く、人と人との交流が少ないので、多くの人と交流させ学ばせることが大切と思う。まずボランティアを数多くさせ、その中から家庭の中では得られない体験をさせる。それによって優しさや他人をいたわる心が育つ。最近設立された富士市交流プラザ、ふじさんめっせなどの場所でいろいろなイベントを行ってほしい。もちろん大人や子どもも楽しめるような、あそこに行けば笑顔になれる場所をたくさんつくってほしい。そしてその中で何かが育ってほしいと思う。家庭生活の中では、夫妻がしっかり子どもをしつけて、人をいじめては絶対にいけないと教える。人には優しくと。そして生活の中では和を育ててほしい。「和をもって貴しとなす」という言葉は生きる基本です。(女性 50代)
- 子育ては、家庭での環境も大切ですが、1日のほとんどを過ごす学校での教育も大事と思います。教師は問題のある生徒を面倒がらずに、少しでもよい方向に導くように親身になって生徒と接するべきです。問題のある子どもの進路をとりあえずの気持ちで決めてしまうと、その子どもの一生にかかわるほどの大失敗になってしまいます。家庭で補えない部分はやはり、教師を頼りにしています。健全な青少年を育成するのは、中学校での教師の姿勢が大切と思います。(女性 50代)
- 現在の生活が個を尊重することに重きを置いたり、プライバシーなどもあるので難しさを感じている。親が子育てについて未熟であり、近くに身内がおらず手助けをしてもらえない人がいない場合、幼い子どもを育てる際に困ったことをそのままにして年月を過ごしたり、ストレスのはけ口がなく子どもに八つ当たりしたり、泣いたり怒ったりしている子どもに、親が疑問符のつくような対応をすることが多くあります。子育ては、親育てそのものです。中学生・高校生はもとより妊婦さんに、困ったときはここに相談してくださいなどのメッセージを配信できるとその後の子どもの成長にプラスになるような気がします。とにかく家庭のしつけのまずさが目につきます。(女性 50代)
- 中学生・高校生を持つ親の姿にも問題があると思います。家庭の中でも団らんの姿があれば、子どもは正しく育つと思います。(女性 50代)
- 上の子から下の子の学校の様子だけでもこの10年くらいで大きく変わっているように思う。防災訓練も町内の役員さんの集団下校から個々の親の引き渡しに変わったり、子ども会も親が大変、面倒だから入らないなど、以前では考えられないことが当たり前になっています。ほとんどの親が共働きで、私は仕事をしているからと平気で役員を断るお母さん。周りとの協調性に欠けた親と子。町内会にも入らない人たち。環境がどんどん個々になっているような気がします。そういう子どもたちが学校で集団生活を送るといのは難しいのでしょうか。もっと幼いころからいろいろな人とかわかって思いやりや協調性のある子どもたちがふえてほしい。学校の先生も、もっと心のある指導をお願いしたい。弱者にもっと気持ちをこめてほしい。優しく、よい子どもたちほど心が折れてひきこもってしまうように思います。(女性 50代)
- 男女平等とは言いますが、家族の中では1番は父、2番は母という昔からのルールは、子どもがお腹に授かったときから教えていくべきと思う。青少年になったときでは遅いと思う。(女性 50代)
- 青少年が一人一人の夢を持つことができ、その夢のために社会の中で協力したり努力したりすれば楽しくやっているといます。(女性 50代)

- そもそも今の大人が健全かと問われて「はい」と答えられるのかと思います。子ども会・青年団・婦人会・敬老会は、なくなったり縮小されたり、他人とかかわる機会が減る一方です。皆さんがどう思われているか、このアンケートの結果を見るのが楽しみです。子どもたちには夢を見たり、自分の意思を持って意見を話すことができる人になってほしいと願っています。 (女性 50代)
- 子どもがいないのでよくわかりませんが、最近の親は子どもに無関心な人が多いと思います。スーパーの駐車場で友達との会話に夢中になり、子どもが何をしても知らん顔(すべての人がそうとは言いませんが)。スーパーの中で「なんだこの野郎・テメェー」と子どもに対して暴言を言う。子どもは親の背中を見て育つと言われます。子どもの教育環境を整えるのも、先に生まれた私たちの使命・役割と考えます。親の「自覚」がもう少しほしいです。親が一生懸命頑張っていれば、必ず子どもの心に通ずると私はそう考えます。 (女性 50代)
- 朝や夕方などに挨拶すると大きな声で挨拶を返してくる子、まったく挨拶をしない子がいます。それは家庭のしつけの問題だと思います。子どもが幼いときから親が声をかけ、目をかけ、手をかけることは、しつけの上で、子どもの育成の上で大事なことであると思います。1歳くらいから保育園に預けたり、夜間に働いたり、子どもに目を向ける時間が少なくなっていると思います。所得により育児手当(児童手当)をふやすなど、市が考えてほしいと思います。他県のある市では、中学生・小学校の高学年の子どもを持つ、暴走族時代の親が多くいるため、学校が荒れているという話を聞きました。親として学校や担任の先生の話には、しっかり耳を傾けることも必要だと思います。 (女性 50代)
- ボランティアを小・中学校の学校教育に取り入れ、体験学習してもらおう。青少年が健全に育っても働く場のない富士市では、優秀な人材は大都市に行ってしまう。優秀な若い人材を活用できる富士市になればよい。大きな目標が富士市には足りない。富士市の青少年の学力が低いのは、この地域に競争心がなく、また情報不足があるからであると思う。富士市を出なくても、大きな目標・会社・仕事・偏差値の高い大学のあることが必要と思う。市内に働きたいような上場企業がたくさんあれば、地元離れせず、優秀な人材は外に出ることなく富士市に戻ってくるのではないかと。現在はそれがない。 (女性 50代)
- 今の青少年は昔と違い乱れている。世代が違うとはいえ、私にはとてもついていけません。それも仕方ない。 (女性 50代)
- 私の学生時代は、教師がテレビを見ることを批判していましたが、今はゲームばかりしている子どもたちを見ると悲しいです。面白いものは見たい、やりたいのはわかりますが。また、もうけ主義でコンビニエンスストアに過激な本が目につきます。日本はひどいとデヴィ夫人が言っていました。外国のよいところは積極的に日本も見習い、合理的に親の負担を少なくする。学校に何でも教材がそろっているアメリカはよい、ドイツなども。しかし、日本の給食は最近おいしいようで頑張っている。学校に行くのに楽しみは今も昔も同じ。いじめのない明るい社会を願っています。 (女性 50代)
- 就職難で労働条件も整っていないと言えない現状。将来に明るい希望の持てる社会であってほしい。 (女性 50代)
- 少人数制の学校教育で落ちこぼれをなくすことが大事だと思います。 (女性 50代)
- 大人も自分のことで精一杯である。今の自分たちは体力・気力が足りない。自分の子どもをよく見ている親は少ない。幼いときから保育所に預けたり、金をかせぐのに手いっぱい。おしゃれをしてお食事会や飲み会に行くのは、優先順位が違っているような気がします。 (女性 50代)

V 自由意見

- 今の青少年は心の問題があったときに閉じこもりがちになり、他人とのかかわりも持たなくなり、解決策がないように感じます。やはり家族愛しかないと思います。家族でも対応が難しいです。私の家でも息子が高校生のときに登校拒否になり、原因がわからなかったので先生に相談して、学校に行きたくなるまで私はかかわらず、休むように言いました。その間ノートを1冊息子に与え、なんでもいいから自分の思っていること、つらいことを書くようさせ、親がつらいより子どもが本当につらいと思い、ぐっと堪えたものです。そのかいがあって自分から学校に行くようになりました。今は社会人ですが、やはり心の病が出ると仕事も休み、また別の仕事に変わる生活になっています。でも精一杯働いて頑張っています。(女性 50代)
- 勉強ができればいい子で、社会のルールやマナーを無視して他人に迷惑をかけても何も言わない親がいると思います。私が子どものころはいろいろな大人から叱られたり、いろいろ教えてもらったりましたが、今は悪いことをしてる子どもを注意すると逆に怒られたりすることがあります。学生的时候は、親がかばったり助けてくれたりしても、社会に出たら自分で解決していかなければいけないことが多くあると思います。(女性 50代)
- 親が子どもの様子をしっかり見守ってあげることが大切だと思います。いじめ→不登校→ひきこもり→ニートとなってしまいう前に子どもが何を考え、どんな状態にいるのか、親が子どもの変化に気づくように見守ってほしいです。(女性 50代)
- 私が若かったころは、周囲の大人(親、教師、地域の人など)が、子どもに対してみんな関心を寄せてくれていた気がします。現代は大人も子どもも忙しく、自分のことで精一杯です。ただ今回、富士山が世界遺産になったことを受けて、子どもたちに世界を感じてもらおうよいタイミングであると思います。すばらしい土地で育つ子どもたちが、視野を広く持って、夢を描けるよう育ててくれることを願っております。(女性 50代)
- 私の家の子は普通に育ち、今は社会人として働いており、今までは特にすごく悩んだり困ったりすることはありませんでした。でも、いろいろな悩みを抱える本人、家族にとってはとてもつらい日々を過ごしていると思います。一個人の私では何が悪いのか、何をすればよいのかは全くわかりません。ただ、悩みを持つ家庭では、対処するのも難しいことでしょう。地域活動に参加している私としては、地域で何かできるのではないかと思います(具体的なことはありません)。最近、家の近くで知らない小・中学生とすれ違おうと挨拶をしてくれるので、とてもすがすがしい気持ちになりました。地域の子として温かく見守っていきたいです。(女性 50代)
- 学校教育が大事だと思います。ただ勉強ができるだけでなく、教養を大切にされた教育です。人に対して思いやり・優しさ・敬愛心が身につけているのは当たり前で、かつ一人一人が何ができるか。しかし現実には公務員の給料は下げられ、教育現場ではさまざまな問題が山積みされています。解決するには時間と教師の力が足りない。受験経験がない安倍総理に何がわかるのでしょうか。愛国心のある賢い富士っ子が育つよう、納税の義務を勤めます。職員は日々大変でしょうが応援しています。(女性 50代)
- 家族のあり方、メディアの必要以上の報道、道徳の時間、自由と責任、人間(思いやる・気を使う・我慢する)。(女性 50代)

- メディアでゲームソフトや携帯電話などのCMが氾濫し、収入がないのにすぐ入手したが、さらに低年齢化傾向があり企業の利益ばかりを青少年へ向け、手に入れるためには楽しんで我も我もととおる企業の戦略を規制すべきである。信頼できる友人ができていれば、ひきこもりやニートなどにはならないと思う。また、教育者も、偏ったものの見方で指導し、事なかれ主義を通す。保護者も近年は自分主義ばかりで、子ども同士、親同士のつながりの中での信頼関係が薄らいでいるように思う。道徳・マナー・人に対する思いやりがかなり欠けてきていて、親も大人として子どもにしつけが正しくできない人が多いと感じます。地域での体育祭や祭りについても、参加者は運動部関係者のみが楽しんでるだけのような振る舞いもあり、大声や酒宴での近所迷惑、大音量の音楽など（ごみもある）、近隣者は迷惑極まりない。節度を持っておこなうべきです。（女性 50代）
- 青少年が健全に育つためには、私たち大人が大きな責任を負っていると思います。一人一人の意識の中にそれがないと、どんなに頑張っても改善されない気がします。ひきこもりやニートも、なぜそのような状態になるのかしっかりと理解する必要もあります。私には他人事のように「大変ですね」と言ってしまう気がします。このアンケートで自分自身を反省し、真剣に考えようと思います。今は隣の人は何をしているかわからない社会です。近所づきあいや地域を大切にできる社会ができたらうれしく思います。（女性 50代）
- ボーイスカウト、ガールスカウト活動。倫理教育ができる青少年活動。（女性 50代）
- しつけの前に親の常識は大丈夫か。何年か前に市内の公園に立ち寄り、遊具に近づくと、3・4人で話をしていた母親のうちの一人が近寄り、ここはうちの子が遊ぶから使うなと言われ、思わずぽかんとしてしまい「何それ」と娘2人で言ってしまい、孫も遊ぶ気が失せました。その母親の子どもたちは違うところで遊んでいたのにです。こんな母親に育てられた子どもはどのように育つのか。よくも悪くも親が手本です。親の言動を子どもは自然に身につけます。まずは親のコピーで行動し、思考も似てきます。だからこそ、親も他の大人も普通程度の常識は持たねばならない。いじめにしても、ひきこもりにしても、子どものころからのいろいろな出来事の積み重ねで、よいこと、悪いこと、その時々親や周りの大人の対応で、言葉で、風景で、そのときの自分の気持ちで、すべてが心の肥やしとなり、自分自身への自信となり、他の人への思いやりにつながると思います。親は大事、子どもの世界の中心です。（女性 50代）
- 法律や理屈ではない。だめなものはだめという社会、人間としてのルールや道徳を常日ごろから教えることが大切。（女性 50代）
- 家庭の問題です。社会や学校のせいにしてもらいたくない。親が親らしく、社会人らしくなければならぬ。親の教育が必要。（女性 50代）
- 小・中学校の先生がもっと勉強以外のことに気持ちを向けられるようにしてほしい。子どもに無関心な親がふえている気がする。キャンプや祭りなども、行かされるのでは効果がないと思うし、親世代がこういった行事に無関心である。スマートフォンやパソコンが、考え方や行動に与える影響は大きいと思う。子育て支援をしているところ（グループ）がたくさんあるが、情報がまとまっていない。いろいろな相談機関の受付時間を休日や夜間まで延ばしてほしい。市内に家族で遊びに行けるところが少ない。放課後に子どもたちが自由に遊べる場所がない。（女性 50代）
- 若い力にお世話になる機会が近ごろ何度かありました。「若くなくちゃできないな、すごいな」と思います。一人一人の個性が活かされて活躍できる場があるといいと思います。富士市にもっといろいろな職種の仕事があるといいと思います。「富士市版仕事ハッケン伝、会社の星」があるとおもしろい。（女性 50代）
- 今の青少年の親の世代に問題があると思います。どう対処したらよいのかはよくわかりませんが。（女性 50代）

V 自由意見

- 「個の尊重」を考え違いしている人が多いからではないだろうか。子どもを大人と同等に扱って甘やかして育てているので、何でも許されると思ってしまう。集団の規律・ルールを守ってこそ、個が生きる。だめなことはだめである。目上の人を素直に聞き、他人の痛みを自分のこととして受けとめられる、そんな子どもに育ててほしいと思う。
(女性 50代)
- 親類にひきこもり・ニート・発達障害で悩んでいる人がいます。医療機関（精神科医など）への受診も考えているようです。国からの援助・補助などがあると受診しやすいですが、この時代、医療費の負担は大きいようで、行きたくても行けないと悩んでいるようです。もっと相談しやすい環境が整うといいと思っています。ちなみに今回、厚生労働省が発表しているひきこもり・ニートの定義で「6か月以上」や「15～34歳」など、具体的な数字があるのを初めて知りました。また同時に「青少年」というのも0～40歳未満までの人のことを意味することも初めて知りました。意外と範囲が広い。
(女性 50代)
- 困難を抱える子どもなどは、相談をしたくてもどこにどのように、気持ちを伝えればいいのかかわからない点も多いと思うので、そのような場をつくることも大事だと思います。また、昔も今も変わらない仲間・友達・近所は大切だと思います。
(女性 50代)
- 個性を伸ばせる教室・団体・組織などがいろいろあって、割安で自由に選択できたらいい。
(女性 50代)
- 私の家には27歳の息子がいます。彼の中学生時代はごく普通でした。先日たまたま耳にした話によると、ある中学校で生徒が床に寝たまの姿で授業を受けていたということでした。やはり家庭でのしつけが問題なのではないでしょうか。親のための地区懇談会などをふやして、親の再教育を促してはどうかと思います。
(女性 50代)
- 青少年の健全育成には、良好な家庭環境がまず必要だと思います。私が子どもを持ったとき、自分の親とは違う子育てをしようと思いました。しかし自分の親の子育てしか知らなかったら、親をモデルに自分も親と同じしつけをしてしまうので、当時公民館で行われていた「親業訓練講座」を受けました。遠回りなようでも子どもとしっかり向き合うことができたので、中学生の反抗期もなく、いじめもなく成長しました。大人になってから転職もありましたが、ニートにならずに済みました。親子関係が良好なら、ひきこもりやニートにならないと思います。挫折しても立ち上がれると思います。また、求職活動においては職業体験があるといいと思います。
(女性 50代)
- ゆとり教育の弊害なのか、行事に時間を費やせなくなっていないですか。運動会や合唱コンクールなど、何かやっつけ仕事のように1年間をこなしているように見受けられます。子どもがけんかし、ぶつかり合いながら目標に向かい、成し遂げる喜びを知ること、自分を抑制することを覚えたり、他人を気遣う気持ちが養っていくと思うのですが、今の学校教育の場にはその機会がないように思われます。協調性のとれない子どもがふえている原因の一つとして挙げられるとも思います。挨拶ができない子どもがふえています。勉強も大事ですが、人としての基本を学ぶ場所こそが学校であり、親としての義務なのではないでしょうか。どんな活動をするにしても気持ちの持ち方で、プラスにもなるでしょうが、何も得られないこともあると思います。富士市を担う青少年を育てるためには、大人を教育する場所が必要だと思います。
(女性 50代)
- 第一に考えられるのは、家庭環境が基本になると思います。両親の愛情を幼いころに感じられたり、たくましさを目にすることで、子どもは安心したり、何か悩んでいるときに背中を押してもらったり、叱られることも子どもの成長に大切であると思うし、青少年になっても心の踏み台になると思います。また、幼いころから地域とふれあい、家庭や郷土を愛せる機会をつくることも大切だと思います。
(女性 50代)

- 青少年の定義が0～40歳とアンケートにあったのには驚きました。成人式も過ぎた20～40歳の大人にも、その家族にも、この支援計画は対象が及ぶということだろうか。市が青少年の育成についてさまざまな活動、支援をするのはよいことであると思いますが、そこには少々違和感を覚えました。考えすぎでしたら申し訳ありません。成人までに健全な大人になれない人は20～40歳になっても不健全なので支援は必要かもしれません。(女性 50代)
- 子どもを育てている親が、自分の子どもの行動を見ていない例が多くみられます。核家族化が進み、注意する大人がいなくなっています。子どもの親は、姿は大人ですが、行動は子どもと同じことが多く、物を食べながら歩き、ごみを道に捨てて平気な顔をしています。子どもたちは、世の中のルールを覚えていない親に育てられているわけです。その親を育てた我々の世代が、もっとしっかり声を大にして注意していくことが、身近な育成につながると思います。(女性 50代)
- 限らない愛情を感じられる親子関係を維持できる安定した家庭環境。親の収入の安定。(女性 50代)
- 子どもたちが育つ環境をよいものにしてあげたい。けれど、してあげるだけではいけないと思う。親子・地域・学校で協力して、一緒によい環境をつくりたいと思っています。いろいろな環境で育っていく個人・個性・思春期があり、難しいです。大人も、子どもたちと成長していきたいと思います。(女性 50代)
- 家族の中にひきこもりやニートがいると本当に大変と思います。家庭がしっかりしていてもなるだろうし、原因を特定して、相談しにくいかもしれませんが、市で気楽に相談できる窓口を設置してほしいです。家庭がしっかりしていない場合、踏み込むのは大変と思いますが、専門家で家庭訪問をしてほしいと思います。(女性 50代)
- 私は富士市に住んで30年以上になりますが、富士市は活気がなくなっているように思います。富士本町(富士駅前)のにぎやかさはどこに行ってしまったのでしょうか。2つの大型店舗の跡地は今後どうなりますか。地域の活性化がなければ、青少年育成にはつながらないと思います。(女性 50代)
- 健全な心は、親が責任と愛情を持って与えることで培われるものと思います。パーセンテージで表すのは難しいけれど、大半は親であり、通学している学校の先生、そして近隣の人とのかかわりだと思います。人間は一人で生きているのではないことは親が教えるべきであると思います。(女性 50代)
- 私は2人(男・女)の子どもを育てました。このアンケートは、大変考えさせられる問題ばかりでした。子どもを問題なく育ててきたからであると思います。たとえ問題が起こっても、その都度、夫妻親子で話し合ってきました。幼いころから1日の学校の様子などを会話しながら夕食をしていました。まずは家庭からだと思います。1日10分でもいいので、親子の会話をすべきだと思います。(女性 50代)

V 自由意見

- 子どもの成長過程の善悪は、大人になって社会人としての結果がどうであるかがすべてだと思います。社会的なルールやマナー、他人への思いやりが根底にしっかり教育されていれば、やんちゃな行動や反抗期があってもそれも大切な成長過程の一つなので、近くにいる大人たちの見守りと適切な指導が必要だと思います（難しいことかもしれませんが）。スーパーで見かけたショックな場面の話ですが、30代前半の母親に連れられ駐車場に降りた1年生くらいの男の子が走り出したところ、母親が「てめえ死にたいのか、車にひかれて死んじまえ」とどなり、男の子を追いかけて後頭部をおもいっきり殴り、反動でコンクリートに顔が打ちつけられて号泣。しつけのつもりでしょうが間違っています。また、別の店内での出来事です。8か月くらいの赤ちゃんを抱いた母親の後ろをカート内に2歳くらいの女の子を乗せ、小学4年生くらいの男の子がカートを押していました。カート内の子どもがおもちゃを落としたことで、通りかかったお客様が拾ってあげたところ、カートを押していた長男に対し「てめえが拾わなかったからだろ」「てめえなんかどこか行っちまえ」「ついてくるな」と頭を殴っていました。以上2件の事例とも、しつけと称した暴言・暴力で、母親たちへの教育が必要と思いました。（女性 50代）
- 一人一人が一生懸命働き、ゆとりを持てるような生活ができるようになるとよい。（女性 60代）
- 電車内の優先席にちゅうちょなく座る中学生・高校生を見ると、小学生のころから道徳教育にもっと力を入れてはどうかと思う。（女性 60代）
- 地域の人たちが優しく見守ってあげる。悪いときは注意をする。（女性 60代）
- 重要と感じることは、家庭でのしつけだと思います。親が子どもに愛情を持って育てるのが必要だと思います。それから就学すれば学校教育も大切だと思います。（女性 60代）
- ニートやひきこもりは本当に身近なテーマです。現に私の家の隣（親類）の息子がひきこもりの時期が長く親はずっと見守っていました。でも今は少しずつ仕事を始め、親の気持ちを思うとよく見守ってきたと思います。また、ニートは私のおいでです。アルバイトはしているようですが、なかなか正規の仕事に就けず、かわいそうです。おいの能力に合った仕事がないのも現実ですが、もう何回も就職試験にチャレンジしています。しかし仕事が若者にないのです。高校生のころからアルバイトで仕事をする楽しさ、他の人との交流、お金を稼ぐ難しさなど身をもって体験することも大事だと思います。今の時代、子どもを大事にしすぎる面もある。（女性 60代）
- 親が子どもを甘やかし、怒れない、他人（先生や近所の人など）に怒らせないなど、子どもを褒めるに大切にすることがおかしい。怒るときは怒り、褒めるときは褒める。65歳の自分たちが子どものころは、先生は勉強を教えてくれる人、悪いことをしたら怒られるのは当然で、親にもお前が悪いと言われました。子どもにも先生が怒ってくれる間は、まだあなたに見込みがあると思っていてくれる、無駄と思われたら怒ってももらえないと教えました。先生に怒られるのも学生時代のよい思い出です。（女性 60代）
- 親は子どもに教える力が欠如しているため社会のルールやマナーが守られていないように思われる。大人自身ももっと勉強しなければならないと思う。子どもが自由になりすぎて協調性に欠けている。頭でっかちにならないよう運動で体力をつけ、技術を身につける指導を希望する。思いやる心を養ってほしい。（女性 60代）
- 私も長い間福祉活動に携わってきました。地域の行事に参加し、ボランティア活動や仲間たちとのふれあいによって健全な体と心の育成に役立つと思います。マナー化した家族の中にあっても、おはよう、ありがとうなどの挨拶と、自然に声をかけ合える生活が大事だと思います。（女性 60代）

- 良書をたくさん読むこと。相手の話をよく聞いてあげること。励ましてあげること(よいことが一つであれば見つけ出しほめてあげる)。どんな状態でもじっと見守り続けてあげる。哲学(社会的なほうでもよい)にふれる環境づくり。(女性 60代)
- 恐いくらいのゲーム社会・ひきこもり・ニートの第一要因として、野外での大声・走る姿・汗を流し頭から水をかぶる姿を見ることがほとんどなくなりました。寂しく思います。友達や集団行動によって得るものは、体力・精神力・その他いっぱいあると思います。自然と思いやりと、優しさが養われてくるような気がします。少しでもよい環境になってほしい。(女性 60代)
- 昨日、母親が子ども(小学生)に注意している言葉遣いのあまりの乱暴さに、この親の子どもの将来が心配になりました。真面目な優しい子も心配ですし、今は社会へ出ても強い人は心の病気にならないし複雑です。私の子は優しいばかりにストレスが多く、親も聞き役で難しい社会です。育てる家庭環境が大きく影響する場合もあるのではないのでしょうか。(女性 60代)
- 子どもは親の顔色を見ながら成長していくので、しつけが大事だと思います。昔は物がなかったけれど楽しかったと思います。今はお金を出せばすべてが決まってしまう世の中でこれからどうなってしまうのか。(女性 60代)
- 家庭と教育が軸と思うので、幼いころからきちんと向き合うこと。(女性 60代)
- 話し合いがもっと必要だと思います。家族・友達・先生・ご近所。今は自分の許せる相手やグループの中では話ができるのに、その枠を外れるとつき合いがないそうです。私の若いころは自分から皆さんの中に入っていかないと相手にしてもらえないので、たとえ好きな相手でなくても努力をしました。年配の人にも自分から教えてもらうようにしました。また、親は怖い存在であり、言われることは聞くのが当たり前とっていました。先生の言うことも聞くのが当たり前としました。今の世の中、話をしたければ好きな相手と携帯電話で話す。行きたければ車がある。情報を知りたければ、テレビやパソコンがある。何かが欲しければ、いつでも買ってもらえる。子どもが我慢したり、努力したり、自分が持てない悔しさを味わう必要がなくなってしまったのでしょうか。私も今どきの親です。子どもが30歳になっても40歳になっても気がかりで悩みます。話のしやすい子も、できない子もいます。今のところ働くことを嫌がらなく家族を養っているの、それをよしとしています。人間形成は家族は無論、社会全体の責任です。自分の利益だけ考えないで、今いる自分の立場でできることをしてほしい、それだけです。(女性 60代)
- 家庭でトラブルがないというのほうそと思います。何か起きたとき、家族で乗り切っていくことが、社会の中で生きていくことの始まりだと思います。近年、家の中で何が起きてても無関心、隣で何が起きてても知らんぷりです。これでは社会生活も子どもの成長を見守っていくこともすべて問題ばかりで、そこには思いやりも協調性も生まれてこないと思います。私の子はできる限り親の力で成長させ、世の中に羽ばたかせたいと思い頑張ってきました。家庭の責任が一番と思っています。(女性 60代)
- 声かけ、見守りに尽きるのでは。(女性 60代)
- 私は息子のことで病気になるほど悩みました。今回このようなアンケートを書くに当たり、もっとどこかに、誰かに、相談できなかつたのかと悔やまれます。現在、その子もういませんが、どうか今悩んでいる人がいたら、どこかに、誰かに、相談してほしいと思います。また、市としても、市役所の中だけでなく、外に専門の場所をつくってほしいと願います。(女性 60代)

V 自由意見

- 今の住宅は2階建てで、2階にトイレとテレビがある部屋が多い。私の家の場合は2階が2人の子ども部屋でしたが、トイレやテレビを置くことで家族との会話がなくなることがわかっていたので、その2つはつけませんでした。ある日、中学校で家庭のテレビ台数の調査をしたとき、1台という人は2人だけで恥ずかしかったとのこと。テレビアニメの時間になると、30分放送の番組を2人で15分ずつ見っていました（違う番組）。買うのは簡単で、今すぐにでも買えるけれど、我慢ということも必要ということを知ってほしかった。おかげさまで大人になっても姉弟とすごく仲がよいです。自分の働いたお金で買うことはいかに大事か、子どもたちなりに知りえたと思います。今の親は子どもに甘すぎます。もっと親のしつけということを子どもに教えることです。もっとも、先に子どもより親をしつけないといけない。
(女性 60代)
- 自分から進んでやることなく、言われなければやろうとしない、ゆとり教育のせいでしょうか。
(女性 60代)
- 家庭できちんとした食事や日々の生活を送れるように心がけていくこと。親は己の心を磨き、身を鍛えて社会人であることに自信を持った姿を子どもに見せることが必要ではないか。
(女性 60代)
- 市や町内などで若い人が楽しく集まれて何かをできる機会をつくる。スポーツや体力づくりを無料でできる場所をつくる。青少年たちで行ける旅行などを企画する。
(女性 60代)
- 土曜日は通学とする、各種の自動販売機の禁止。今の社会は物があふれているので欲しいものをすぐ金銭で求めてしまうが、工夫してつくってみる、修理してみるなどの教育が必要ではないか。
(女性 60代)
- 悪いと気がついたときに、他人でも勇気を持って声をかける。最近話題のDJポリスのように、人の心に訴えられるような話し方で指導できたらよいと思う。その前に大人が話し方を勉強のできる場があればよいと思います。
(女性 60代)
- 健全育成を一言で言うことは難しいが、大事なことは家庭でのしつけ、他人への思いやり、目標を持つ、地域への積極的な参加、人に言われなくても自分で進んでやれる子ども、家庭環境ではないでしょうか。
(女性 60代)
- 子どものしつけ方は、親が幼児期・小学生・中学生・高校生のときに体験したことが、もとになっている。親の責任は重くお手本になるように気をつけなければならないと思います。
(女性 60代)
- 幼いころから子どもたち全員がスポーツ少年団(剣道)に入り仲間といい汗をかき、小学校6年間、中学校・高校と続けてきたことで、苦しいことや楽しかったことを仲間と話し合うことができます。続けることの意味。社会人になった今でも続いています。スポーツに感謝しています。
(女性 60代)
- 自分の通ってきた月日を思い起こすと、親と子どもが真剣になって話し合い、親は子どもの成長に合わせて、見守っていく必要があると思います。
(女性 60代)
- 夜中バイクの音で目が覚めます。親は何も言わないのでしょうか。他人に迷惑をかけていることがわからないのでしょうか。早いうちに芽を摘めばよかったと思います。
(女性 60代)
- 高齢者は、どの子も我が子と思う気持ちは持っている。でも、今は何か違う。自分の子と同じように扱ってはいけないようです。子どものほうから声をかけられれば、年寄りも親身になりその子と向き合える。学校でそういう教育もしてほしいものです。
(女性 60代)

- 私の家は男ばかり3人の子どもでした。3人とも、サッカー少年団に入っていました。休みの日はほとんど試合。親も子どもと一緒にサッカーをしている感じでした。中学に入って息子が昼休みにサッカーをしていて転んで口の中を切って、御飯が食べられないと言ったときがありました。後から少年団のときの仲間のお母さんから問題児の子がいて、その子たちにやられたらしいというのを聞き、びっくりしました。そのことについて息子とも話をして大丈夫でしたが。その息子も28歳になりますが、その少年団のときの母親たちは未だにつき合っています。気にかけてくれる友達がいるというのは息子にとっても幸せなことだったと思います。(女性 60代)
- 家庭や社会ともに見て見ぬふりをせず、関心を持つことが必要最低限なことであると思う。(女性 60代)
- あれもだめ、これもだめではなく、本人がやりたいことがあればやらせればよいと思います。私の孫も小学校4年生になりましたが、今ドッジボール大会の練習に行っています。去年まではいやいやながら練習に行っていましたが、今年はおもしろくて楽しいそうです。その娘にとっていろいろな時期があるので、あまり心配しないで待てばよいと思いました。(女性 60代)
- 家庭で、一人で自立して働けるような子育てが必要と思います。「自分のことは自分です」、それが基本と思います。(女性 60代)
- 世界遺産に登録された富士山のように、地域を愛し、相手を思いやるすばらしい若者のまちであってほしいです。(女性 60代)
- 核家族化している現在の子どもたちに、さまざまな体験をさせてあげたい。(女性 60代)
- 子どもを育てるのに、その子のよい点をほめて、注意したいことは命令的ではなく「こうしたほうがよいと思う」という相手を尊重して言ったほうがよいと思う。(女性 60代)
- 家族との会話を忘れず、時には怒ったりする。(女性 60代)
- 人間として上・下の差が大きすぎると思う。(女性 60代)
- 前から思っていたことは、ゆとり教育で土曜日を休みにしたこと。現状を見ていると、ゆとり教育とほど遠い。もっと考えて土曜日は学校のほうでボランティア、現場教育、キャンプなど、外で活動するように。また、富士市は世界遺産になった富士山があり一番すばらしいところなのに活気がない。何をしているのと言いたいくらい。いつも後手後手になっているように思います。(女性 60代)
- 昔はお隣同士が話をよくして、自分の子どもでなくとも悪いことをすると注意したり怒ったりしたのですが、最近そのようなことを言ったり注意したりすると、その子の親から余計なお世話と叱られます。そのような親からの子どもはどう成長していくのでしょうか。健全育成と言っても、やはり幼いころからの大人たちのしつけからではないか。(女性 60代)
- 親がしっかりしていないから、子どもがいい悪いの分別をできない。なんでも欲しい物を幼いときから与えるので我慢ということができない。(女性 60代)
- 本来、青少年の健全育成とは親がなすべきことですが、時代の変化で親と子どもの力関係が逆転している今、やはり正しい指導者を育成するしかない。子どもたちの吐露するものを正確に受け止め、理解してやる必要があるが、いずれにしても身体を十分に動かせることが大事、まずはそこから。自分の目標を早く見つけさせてあげるためにも、大人がかかわっている仕事を体験させてあげるのもよいでしょう。子どもたちに目的意識を持たせることが大事だと思います。(女性 60代)

V 自由意見

- 最近は何のせいかわからない、青少年のことをあまり考えたこともなく、自分の老後のことばかりでしたが、こうしてアンケートを通して少し考えることができました。健全な育成とは抽象的過ぎて、難しく答えが出てきませんが、いじめの問題が出るたびに心が痛みます。幼い心で耐えていたのだろうか。学校生活が楽しく送れるよう、関係の者には心を配ってほしいと思います。(女性 60代)
- 3～4歳のころに我慢することを身につけさせる。欲しい物は何でもすぐに与えるようでは忍耐力が身につかない(幼いときに体験させる)。親は子どもが可愛いから、つい子どもの欲求を何でも叶えてしまい、それがよい親と錯覚していることがある。子育てをすることは、子どもと一緒に親自身も成長していくこと、親自身も我慢することであると思う。子どもに小遣いを与えて、自分は好き勝手をしているようでは、子どもの心が素直に育っていくはずがないと思う。また、遊園地へ行くことが悪いわけではないが、身近にある自然の美しさに親子で感動する、そういう体験が、優しい心を育てていくと思う。親がどれだけ一生懸命に働いているか、生きているかを見せることが大事。(女性 60代)
- 家庭内で、幼少期から親と子のかかわりが両極端になっている傾向に感じます。親子がべったり、または無関心で、物(金銭)を与えすぎる親が多くいると感じます。つまり、親ばかりせっせとお金を稼ぎ、ふれあう余裕もなく、子どもを見放しているようにも思えます。地域行事も私たちが子どものころは、道路掃除やお宮の掃除などたくさんありました。今は祭りに参加した子どもにまで金銭や物を出しています。(女性 60代)
- 子どもを育てていく親の意識が重要と思う。家庭環境をいかに一人一人の子どもにあったものとしていくか、親が真剣に向き合って成長を見守ることが大事だと思います。(女性 60代)
- メディア関係による「刺激」などが氾濫している。幼いころから目や耳に入っているとそれらのことが自然に当たり前と思ってしまう。そうして自分の抑制ができなくなってしまう子どもを多く見聞きます。それを親や身近にいる人が言い聞かせていくことなど、幼いころからの接し方が必要ではないか。年を重ねるとともに世間・近所の人たちとのかかわり、言葉かけなど、一昔前にしてもらった高齢者との接し方などを思い出し、助けたり助けられたりしたことを思い出します。(女性 60代)
- 幼児期から生活習慣など、思いやりの心を持てるような教育をする。(女性 60代)
- 私に言わせると、子どもを育てる現在の親がなっていない。両親がよい加減だから、子どもはそれを見ていて、よい加減になっているような気がする。(女性 60代)
- 時間の許す限り、たくさん野外活動の体験をさせたい。兄弟の少ない家庭も多いので、年齢差を越えた交流を何回もさせたい。富士市の緑豊かな場所を知る機会もふえます。いろいろな行事に参加し、手伝い、大変な失敗や苦しい思いも経験させたい。みどりの学校が1回なんて少なすぎます。それも夏だけでは。冬も雨も、防災の対策になります。サバイバルの体験は役立ちます。子どもたちの自信にもなります。(女性 60代)
- いくら話し合おうと思っても、大切なことになると黙ってしまい、いつも一方通行で終わってしまう。私が考えるほど本人は心配していない。(女性 60代)
- 幼いころからいろいろな人と接することが大事。(体の不自由・心の不自由)。人それぞれの考えを持ち、それを受け入れられる柔軟さが必要と思う。大人も見守っていく必要がある。いろいろな考え方があっていい。偏見を持たず、自分の行動、言葉に責任を持つことが大事。(女性 60代)

- 家族での会話が要因と思います。親が子どもの話をよく聞いてあげると子どもはその日の出来事を話してくれます。その会話の中から子どもたちが今どんなことをしているのか、どんなことを思っているのかを察するとよいと思います。(女性 60代)
- 地域の大人たちが温かい目で見守ることも必要と思います。次代の富士市を安心して受け継いでほしいです。(女性 60代)
- 親が仲良くして協力しながら、子どもの育成に取り組んでいくのがよいと思います。(女性 60代)
- 私たちが子どものころは、家庭も地域でもみんなで子育てをしてもらい、ルールやマナーを知って育ってきたように感じます。今は地域でも、どんな子がいるのか知らないし、親も子どもに無関心で、自分のやりたいことに子どもをつき合わせているように感じてなりません。深夜営業のファミリーレストランで小さな子どもの声が聞こえてくると、他人の家庭ながら心配になります。社会全体で子どもを育てる環境になれば、こちら声をかけて注意もできるのですが。(女性 60代)
- まずは家庭環境が一番大事だと思います。家庭が一番の話し合いの場所であり最もくつろげる場所ではなくてはなりません。両親が子どもを愛し、子どもが両親を尊敬することから始まると思います。信じ合える家族がいてこそ他人を思いやる心も持てるでしょう。青少年をとりまく学校・社会など、どの環境にも適応できる健全さを養う根源は、家庭環境とそれにつながる地域社会のあり方を考えることと思います。(女性 60代)
- 今年で65歳になりました。子育ても卒業し、今は孫育てに少しかかわって毎日を暮らしています。私が子育てをしていたときと違い、世の中がとても複雑になり、難しい世の中を実感しています。それゆえに、特に親子間、親族のかかわりが大切と思うこのごろです。(女性 60代)
- 家族も少なく、地域との関係も薄くなってきています。ぜひ青少年が人と人のつながりをたくさん持ち、生き生きとした青少年となることを望んでいます。(女性 60代)
- 小・中学校での教育・道徳・しつけ・先生の教育や先生自身の考え方がおかしい。勉強も大事であるが、道徳心を育成する方法、モンスターペアレンツなどの問題があり、先生の腰が引けている。(女性 60代)
- 私たちが子どものころは、育つ過程で両親が厳しくしつけをした思い出がある。だから、どんな場所に出てもしっかりとルールを守り、人との交わりを大切にしてきた。しかし今の若者は子どものしつけがなっていない。だから誰かに叱られればその人を憎む。そして少しでもたたかれば、教育委員会に告げ、大ごとにさせる。私から言わせれば家庭の教育ができていないものを、学校の先生が叱るのは当然と思う。青少年の育成の前に若い父親・母親の教育のほうが大切である。(女性 60代)
- 私は孫と一緒に住んでいるので、祖母の立場でいろいろと細かくは注意しませんが、気のついた点は注意しています。私は60代前半ですが、高齢者の言っていることはためになることが多いです。今は若い家族だけで住んでいる家が多いので、おばあさんの言っている、ためになることが反映されません。それなら地域の行事をふやして、高齢者の人との接点をもっとふやしてもらいたいと思います。人間は誰もがもっと話したがっているのです。対話することが一番です。(女性 60代)
- 家庭におけるしつけの強化は虐待につながる恐れがある。(女性 60代)

V 自由意見

- 健やかな育成は家庭から始まると思います。まず夫妻の相方が互いに愛し合い、生まれてくる子どもに対する接し方から始まると思います。盲目ではない両親の愛につつまれ善悪をしっかりと教えられ、ほかの人に対する差別のない公正さ・親切や挨拶などを身につけさせる必要があると思います。学歴・物質的な事柄や自分さえよければどんなことも自由と考える社会の中で、また不道德なことがまかり通っている世の中で、子どもたちや青少年を健全に育てるためには、全力で戦っていく心構えが必要だと思います。行政は親をサポートし、学校教育も何が一番重要かを常に吟味しながら、一人一人の青少年が積極的に歩んでいけるよう助けていくことができればいいと思います。
(女性 60代)
- 基本は家庭にあると思いますが、子どもを取り巻く社会の環境やさまざまな考え方を持つ友人(学校内)関係で、経験の少ない子どもが悩み苦しむ場面は少なくないと思います。まずは大人が、地域の子どもの対して関心を持ち、自分の子どもや孫と同様に接することが大事だと思います(声かけ・挨拶など)。「気づき」は早いほうがよいはずで、幼いころから「変化」を見逃さず、子どもからのSOSに応じてやることです。ひきこもりやニートなどで苦しんでいる本人の気持ちを楽にしてやりたいです。
(女性 60代)
- 難しい課題であり、一言では言えないと思うが、家族間での会話などが一番必要だと思います。
(女性 60代)
- 善悪がわかる教育。日本を愛する精神。
(女性 60代)
- 社会環境・学校や家庭など全体に問題あり。現在、大人自身に甘い世の中で、しつけ・ルールなどの会話が少ない家庭が多いように思える。大人社会でもいじめがあり、そんな環境の子どもたちが大人の背中を見ていると思うし、振り回されている。社会環境(行政含む)・学校や家庭で連絡を取り合い対策を考えたほうがよいと思います。
(女性 60代)
- 現時点で青少年を抱えた親世代の考えが甘いように思います。親世代への指導方向づけも大事と考えます。
(女性 60代)
- 親の責任(子どもから目を離さない)。
(女性 60代)
- 私たちが青少年のころは、親や学校の先生、また大人の人たちが一番で言動に従ってきたように思います。その中で幼いながら善悪を自分なりに考えて行動していたように記憶しています。また、遊びも外での友人たちとの遊びで家にこもってはなかったと思います。現代の青少年は、時代の流れと言っているのかどうか、のびのびと遊んだり勉強できたりできているのか考えさせられます。塾やいじめなど問題はありますが、友達とのつながりを大切にして善悪を覚えていってほしいと思います。周りの大人も「聞く耳」「見る眼」をしっかり持つことも大切です。
(女性 60代)
- とにかく何でもよいので話すことが大事だと思います。何を考えているのか、思っているのかわからないのが一番怖いと思います。中学生の孫2人ですが、一人ずつよく聞いたり話しかけたりしています。
(女性 60代)
- 命の重みを伝える教育や家庭のしつけが必要だと思います。他者に対する思いやりがあれば、いじめや暴力などはなくなると信じます。
(女性 60代)
- 情報化社会の現在、青少年に有害な情報などの取り締まりの強化(規制)を国で行うべきと思う。
(女性 60代)
- どんなことでも心の総合バランスのずれと思う。親は真に愛を持って育て、祖父母などの大切さを教えていくのが大事と思う。
(女性 60代)
- 自分の言動に責任を持ってほしい。
(女性 60代)

- 青少年の環境(家庭・学校・地域)のどれ一つ欠けても、健全な育成は難しいし、ましてコミュニケーションのとり方も多様化している現代は油断ならない。さりとして強制することもならず、「プライバシーの尊重」で、幼少期はさりながら長じてくると親子間でも踏み込めなくなる面が出てくる。日々を積み重ねる間に見過ごされた問題によって、ある日突然のように事件が発生して驚かされる場合もある。「親が責任を持って育てなくては」と思いながら、子どもは親の元を出て成長してこそ、自立できるのであるし、本当に「人が育つ」ということは大変なことです。共稼ぎの家庭における、子どもへの対処として学童保育があるが、もっと枠を広げたらどうか。また、時間に余裕があり(体力も必要かもしれないが)、知識の豊富な高齢者にボランティアをしてもらって、地域の集会所を開放し、老若のふれあう機会があればいいと思う。(女性 60代)
- 親がもっとしっかりしてほしいし、子どもよりルールやマナーを守らない人が多い。例えば近ごろ、車の運転などにおいても自分勝手な人が多い。それを見ていると子どもは同じことをすると思う。(女性 60代)
- 希望を持ってない社会である。悪いこととよいことをはっきりさせる。いじめなどをする子どもは、親とか先生の前では絶対と言っていいほどよい子である。(女性 60代)
- 昔のように悪いことをしたら少しはたたいたり、よく話をしたり、子どもと一緒にいる時間も大切と思う。(女性 60代)
- 正直、ひきこもりやニートは全くわかりません。過去にも現在も、知人、周囲、もちろん家族にもいませんでした。社会全体としてそういう問題があるのは承知していますが、あまり関心はありませんでした。(女性 60代)
- 私たちの年代では当然のこととして相手の気持ちを思いやる、立場を考えてやるということが当然でしたが、今ではあまり通じなくなっているように思われ、何事も自分中心とした考え方が目立って残念に思います。基本的なこともしっかり身につけていけたら、もっと人間関係もスムーズにできるように思います。(女性 60代)
- よい所をみて、ほめてやる。(女性 60代)
- 幼いころから見守ってくれるご近所がほしい。その中でよい悪いも教えてもらえるから。今の親はそうしたかかわりを嫌うから育てられない。また、隠したがるため、周りに発信しないと話もできない。(女性 60代)
- 世の中あまりにも危険なことが多くて、当たり前なのが当たり前でできず、青少年も戸惑っていると思います。親子関係をもっと密にしてほしいです。(女性 60代)
- 情報が多くあふれ、簡単に早く入手でき、大人ですら何をどう選んでいいかわからない時代に生きている青少年は大変と思う。自分の身の回りにいる子どもたちには、他人であれ、優しさを持って接していくことが大事と思う。(女性 60代)
- 私は子育ては終わりましたが、これからも大変ですね。子どもは素直です。若い親たちももっと年配者の意見を聞いてください。(女性 60代)
- 青少年が職に就きにくい、職がない。一番の問題だと思います。(女性 70歳以上)
- 私は70代の女性です。年代に違い(物が有り余る、言語、礼儀、マナーなど)はありますが、根本的には世代が変わっても同じではないでしょうか。家庭でのしつけ、学校での教育だと思います。私の思いと願いです。(女性 70歳以上)
- 青少年が近くにいないのでよくわかりませんが、ぜひ頑張してほしいと思います。(女性 70歳以上)

V 自由意見

- 自分の力を持って働き、信念で世の中を見つめて心身を持つ世の中を進むとよいと思います。
(女性 70歳以上)
- 子どもが少ないため、家族が物を与えすぎ。働く意欲がないと思う。家族がしつけをしっかりとしない限り子どもはまともに成長しないと思います。
(女性 70歳以上)
- 家族関係の心配りが一番大切だと思います。それから日常の挨拶も大切です。他人と会ったときに挨拶もできないのでは悲しいです。挨拶から話もできるようになります。
(女性 70歳以上)
- ここ十数年の間に社会は多様化・変容し、家族の絆も弱く、親の後姿を見て育つ世代は遠くなり、高齢化の波が速度をはやめて押し寄せている。少子化時代を迎え、核家族となり、生きる社会がとても厳しくなっていく中で、子どもたちがその歪を受け、人として幸福に生きる気運が弱くなっている。さまざまな不幸な問題が起きてくる中で、青少年の健全育成を考えることが成長を見守る地域化に参加の難しさを感じています。県でも生涯学習に取り組んでいますので富士市でも時代を担う青少年の健全育成支援を推進することを心より願っております。
(女性 70歳以上)
- 親子でよく話し合いをすること。子どもを褒めてあげることが大事。挨拶もできるように素直な心で人のために感謝の気持ちを忘れないように。
(女性 70歳以上)
- 健全な家庭生活がすべてと思う。学校に任せるだけでなく、どんなことでも親が模範を示せなければならぬ。今の社会ではこれが欠けている。青少年の健全育成は、皆で努力し、考えていくものと思う。次世代を背負う若者たちに自覚を求めます。
(女性 70歳以上)
- 健康で明るい人にするには、きちんとした食事をさせることです。今の親たちは楽しんで、食事がおろそかになっていて、朝食は菓子パン一つ食べさせて学校へ行かせ、野菜類は食べないからと言って食事には出さない。私は日本食で育ったためそう感じます。
(女性 70歳以上)
- 小学生のときは、地域行事（祭りや防災訓練、敬老会など）への参加の姿が見受けられますが、中学生や高校生になるとほとんどないように思います。行事に楽しく参加できるよう役割を持ってもらうことも必要なのではないのでしょうか。そのためには子どもから高齢者までがそれぞれの役割を持って楽しい行事にするよう計画を立てなければなりませんから、担当する役員さんは大変な努力が必要になってしまいます。年に1～2回でも顔を合わせて言葉を交わすだけでも子どもたちにはよいことのように思います。
(女性 70歳以上)
- 小・中学校、高校の教育の中でしっかり育成してほしい。
(女性 70歳以上)
- 時代の流れというか、私たちの年代ではあまり理解できません。家庭環境や社会の風習を考えさせられることが多い。理解に苦しみます。青少年をもつ家庭にもよき理解者やよき指導者が必要だと思います。
(女性 70歳以上)
- 私は中野友の会で朝、小・中学生の通学時間にあいさつ運動を行っております。子どもたちは皆大きな声で「おはようございます」と元気に挨拶してくれます。始めたころは、恥ずかしそうで大きな声は出ませんでした。1年もたつと大きな声で挨拶できるようになりました。こんな小さなことが大切だと思います。
(女性 70歳以上)
- 職種で人間を差別しないこと、働くことの尊さやありがたさに感謝すること、家族も温かく見守ることが大切である。
(女性 70歳以上)
- いじめや暴力はなくならないと思う。今の親は子どものしつけができていない。しつけは小学生までにしっかりと。高学歴の持ち主でも善悪の区別もつかない愚か者もいる。こういう人が指導者になるといろいろな問題が起きてくると思います。
(女性 70歳以上)
- 3人の男の子を育ててきて、社会人として頑張っているのが安心して老後を過ごせそうです。周りの皆がそうであってほしいと願います。
(女性 70歳以上)

- 家庭にも近所にも、あまり聞いたことがないのでよくわからない。(女性 70歳以上)
- 私自身の育った環境は厳しく、幼いころは家族ともども毎日を生きて精一杯の日々で勉強するどころではなく、小さくともそれぞれが家での役割がありました。地域においても似たり寄ったりの家庭で、必死の生活でした。今は物があふれ、お金で解決できることがほとんどです。差別がひどく、経済力や学力などちょっとでも人と違うといじめも受けます。どんなことにも負けない心を養うことが必要と思います。それと同時に他の人に対する思いやりを、もう少し家庭でしつけるべきと思います。(女性 70歳以上)
- 今の青少年は本当に大変です。私が言うまでのことはありませんが、学校を卒業しても就職できる人ばかりではありません。そのため青少年の悪がふえると思っています。たとえばお金のことなど。今までは学校の夏休みや冬休みにはバイトがあった。でも世界中そうですから、1日でも早くよい世の中になってほしいですね。(女性 70歳以上)
- 今の子どもたちは対面して話すのがあまり得意ではないように思いますが、他人の話を聴くことができ、判断することができる。他人に対し、優しい気持ち、思いやりの心を持てる人に。子どもが成長していく過程で誰もが経験すると思います。反抗期もやんちゃでもよいです。外に出たら協調性・常識を身につけられるように家庭でもしつけていく必要があると思います。親子で道路を広げて歩いていて、後ろから車が来ていても平気な顔をして、避けようともしない、注意もしない親がたくさんいます。親から勉強させないといけません。勉強ができればよい子ばかりを育てているような気がしていますが、社会へ出て自立し、役に立つ人を育ててほしいと思います(親と学校、地域での協力)。(女性 70歳以上)
- 少子化で子どもを甘く育てていると思います。それはそれでいいのですが、善悪をはっきりとさせる教育も必要ではないでしょうか。地区とのかかわりも大切だと思います。年長者のよい態度などが必要だと思います。地区のお祭りなどに参加させて成長ができたらいと思っています。私の息子は、年上の人によい人がいたことがよかったと思いますので、他の人にもそうなってほしいと思っています。(女性 70歳以上)
- 家庭でも教育の現場でも生きることの大切さをしっかり教えてほしい。役に立たない人なんていないのです。みんな誰かの役に立っています。(女性 70歳以上)
- 幼いころの親子関係がずっと尾を引くように思われる。忙しい日々であっても子どもと向き合う時間を心がけてほしいとお母さんに言いたい。国の方針として、小学校低学年までの子どものいる家庭のお母さんへ配慮を(仕事などをしていてもできるだけ子どもとられるよう)してほしい。また、親の足りない部分を、ときに近隣の人が助けられるような人間関係が必要かもしれない。(女性 70歳以上)
- 青少年の育成について考えれば考えるほど難しい問題と私は思います。相談窓口の充実、活動などをしてほしい。(女性 70歳以上)
- 昔は子たくさんで生活は貧しくても家族で協力し合い、ひきこもりやニートとかはなかったと思います。今は少子化で何をすることも大変ですが、自分自身の意志を強く持ち、頑張りたいと思います。(女性 70歳以上)
- 親も思うようにできないとき、子どもの話を聞いてくれる人がいたらと思う。子どもの本音を聞きだせたら、その方向に進めるようにしてほしい。もしそういう子どもがいたら、時々家に来て相談に乗ってほしいと思う。(女性 70歳以上)

V 自由意見

- 家族の絆。朝起きたら「おはようございます」、夜は「おやすみなさい」、人と会ったら「こんにちは」、皆さんからいただいたら「ありがとうございます」、「いただきます」。本当に当たり前の言葉が毎日必要と思います。私は 76 歳になりますが、本当に楽しく過ごしています。青少年健全育成と言っても私にはあまりよくわかりません。親が幼いころから言葉をかけ合って笑いを絶やさないようにして食事などなるべく一緒に食べる、そして話し合える家庭にするとよいと思います。
(女性 70 歳以上)
- 学校から帰ってから、家の中での遊びしかしないような子どもでは、社会へ目を向けることもないと思います。子育て中の親にも、行事参加を嫌がる人が見られます。子どもたちばかりではなく若い親にも、早くから地域の活動に親子での参加をお願いするようにしたらどうでしょうか。
(女性 70 歳以上)
- 比較的若い親たちは子どもに遠慮しているように見えます。なんとしても家庭教育が大切。毅然とした態度で接してほしい。私も大学生の孫に祖母の立場で意見し、しつけをしました。若い母親たちは将来のことを考えてしっかり頑張ってください。
(女性 70 歳以上)
- 見知らぬ青少年でも、一般社会人とで笑顔で声をかけることで、小さな心の陽だまりになると思います。
(女性 70 歳以上)
- 子どものころからのしつけや親子のコミュニケーションを大切にしたいと思います。
(女性 70 歳以上)
- 夜間の店の営業（コンビニエンスストアなど）が多く、出入りしている未成年の子どものことが話題になる。青少年問題だけでなく、電気量にも関係するので、何とかならないかいつも気になります。
(女性 70 歳以上)
- 子どもたちも成長して孫の時代です。青少年の姿を遠くから見守っています。
(女性 70 歳以上)
- 昔は近隣の大人が子どもを見守り、注意したり叱ったりしてくれた。現代はそういうことが難しくなった。教師も親の対応が大変のようで、いろいろと問題が起こっている。民主主義教育が、よい面、悪い面となって現れている。歩きながら缶ジュースを飲む、空き缶を道に捨てたり、他人の家の庭に投げ込んだりするなど家庭でのしつけがされていないと思う。子どもの心の中に正義をしっかり植えつけるようにしてほしい。いじめの問題も少なくなるだろう。
(女性 70 歳以上)
- 自分の子どもが成長して一人の大人として社会生活をしている今、やはり思いやりと、子どもから自立できる大人に育つことが大切と思います。
(女性 70 歳以上)
- 生きる力を備え社会力のある青少年といってもよくわからない。自分で生きていく、自分で考えて生きているという実感がないような気がします。世の中の流れに押されて生きているという人が、家族や周りの人によくしてもらっても自立できないでいる人がいることが残念です。私たちの時代は何とかして生きなければという気持ちで生きてきたので今があると思っています。
(女性 70 歳以上)
- 私は、青少年の話をよく聞いてあげることが大切と思います。
(女性 70 歳以上)
- 青少年が希望と安心を持てる取り組みを、行政に反映してほしいと思います。
(女性 70 歳以上)
- 私はあまりひきこもりやニートは知りません。幼い子ども、小・中学生など、家の前を通る子どもに私が声をかけると、素直に挨拶をしてくれます。家庭や先生の指導のおかげと思っています。
(女性 70 歳以上)

- 昔と違い、なかなか難しい時代になりました。親と子どもに甘く、また親が自由な時代です。何がよいのか悪いかは、私たち高齢者にはなかなか理解できません。でも家の子だけでなく近所、通りすがりの子ども、成人たちにも快く声をかけ、知らない人でも声をかけてもらい、よき友を心の砦と思うことのできる青少年になってほしいと思う。(女性 70歳以上)
- 郷土に誇りを持ち、よきまちを愛する青少年はきっと自分に責任を持った立派な社会人になる。(女性 70歳以上)
- 知人に、40代になってリストラにあってから2年半以上在宅だったが、1年くらい前に再就職して2か月くらい勤務したものの、職場の人間関係とちょっとした体調不良により退職し、10か月くらい在宅を続けている人がある。経済的には困っていない。母親の年金などで余裕があるため。親は悩んでいるのに本人はいたって平然としているのにびっくり。将来のことを考え、目標を持って、就職活動などを意欲的にできることを期待しています。目的のために今何をすべきか自覚をしてほしい。(女性 70歳以上)
- 家族と一緒に食事をし、よく会話するように心がける。自分に子どもがいないためあまりわかりません。(女性 年代不明)
- 青少年ぐらいの人と話すこともないのであまり関心はない。家庭と社会(学校生活)の中で、仲間と協調し合いながら意志を持って将来を描ける環境づくりを大人が手助けしたいと思う。(女性 年代不明)
- ニートについて、若い人が働ける場所をふやしたらいいと思います。(性別不明 40代)
- 十代のころ、青年団サークルに在籍し、町内会で一泊旅行させてもらったり、盆踊りのリーダーをやったり、サークル内での恋もあったりして、楽しかった時代がある。日々の自分の飲み代や食代を払い続けられる収入を得ることと、その地域で生活している青年で仲間と仲良く自分のこと、人のこと、心配なこと、楽しいと思えることを発想できる人たちが、仕事の後の夜だったり、日曜だったりとそこそこに集まって真面目なこと、大らかなこと(許される範囲のこと)、自分たちがこれからやってみたいことを話し合い、役所の人に伝え、公共のお金でやらせてくれそうなことをいろいろ経験させてもらいました。(性別不明 50代)
- 幼少のころから他人や弱いものに対する優しさ、ボランティア活動を率先して実行する、痛みがわかるなど、しつけ教育が必要。(性別不明 60代)
- 家庭のしつけ、社会での決まりなどを教えることが必要と思います。常識が年代によっても違いますし難しいですが、人間として最低限の常識を教えてほしい。市の問題以前のことのようにも思いますが。(性別不明 60代)
- 今の親は子どもに甘い。自分の子であればしっかり自覚性を持たせないといけな。子どもの言いなりになっていると思う。親がだらしないからと思う。(性別不明 60代)
- 少年に余裕な時間があると、非行に走りやすくなる。スポーツクラブなどに入るべきと思う。(性別不明 60代)
- 青少年にもできることはたくさんあると思います。奉仕作業(市内のごみ拾い、老人施設への訪問・手伝い)など、もっと活躍できると思います。災害時など、大きな力になると思います。中学生などは体力もあるし、これから学校でもそういう実習や講演会参加など、多くを知り、考える機会をふやしてほしい。(性別不明 60代)
- 私たち70歳過ぎたものにはあまりニートとかひきこもりのことはよくわかりませんが、特に自分の家族にいないので(親戚にはおります)大体のことしかわかりませんが、この問題はやはり家庭内の親子の関係をうまくやっていくしかないと思います。(性別不明 70歳以上)

V 自由意見

- 現代の若者は携帯電話のメールや、インターネットに夢中になり、友人宅に遊びに行ったり、友達同士で勉強したりすることが少ない。個人での行動が多く、協調性がない。嫌な世の中になった。これも政治が悪いのか。
(性別不明 70歳以上)
- 家庭・学校・社会（市全体）の総合育成が必要と思います。
(性別不明 70歳以上)
- 自主性と責任感を備えるような点についての教育。国際感覚を育てること。
(性別不明 70歳以上)
- これからの富士市を背負っていくために、健康づくり（体力づくり）から始めてほしい。
(性別不明 70歳以上)
- 子どもたちが夜9時を過ぎても遊んでいたり、公園にいることを目にする場合があります。私が子育てをしていたころは、夕方5時には家に帰るという約束をし、毎日を過ごしました。そういうことを続けていると自然と暗くなると怖いと子どもは思い始め、明るいうちに自然と家に帰るようになりました。こういうことは、家族で決めて子どもに守らせるということをすれば習慣になります。それによって夜遊びは自然とありません。
(性別不明 年代不明)
- 私の子どもは学校で特別支援を受けることにより、先生に配慮してもらったり、先生との連絡が取りやすくなったりしたため、とてもいい方向に向かっています。学校にはまだたくさんの支援を必要とする子どもたちがいるように思えるのですが、かつての私がそうであったように親が一步踏み出せないことで、つらい状況から抜け出せないケースが多いような気がします。ひきこもりやニートにさせないためには初期段階での学校と保護者との連携が不可欠と思うので保護者が相談しやすい場所を整えてほしいと思います。
(性別不明 年代不明)
- 青少年の健全育成に問題があるのは世の中の拝金主義の鏡でしょう。簡単には修正は難しいとしても生活にもっとゆとりがなくてはいけないと思います。
(性別不明 年代不明)
- 親として子どもにしつける際、善悪を明確化すること。学校での指導は学力向上だけではいけない。学校は人間として生きていくことを教えるべき。学力向上目的の教師ばかりである。
(性別不明 年代不明)
- 親や家庭で子どもを育てる意識が薄い。子どもは自然と成長するとともに大人になる知識を身につけるだろうと思って、ほったらかしにしている傾向が少なくない。幼少期から、食生活・働くこと・汗を流す・規則正しく生活する・善悪の判断・家族愛・しつけ（礼儀、身だしなみなど）・周りの子に左右されない・喜怒哀楽の豊かな子・流行に流されないなど、親として責任を持って子育てすることが大切です。
(性別不明 年代不明)